

7橋修第1号

竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事

設 計 図 面

[実 施]

丸 森 町

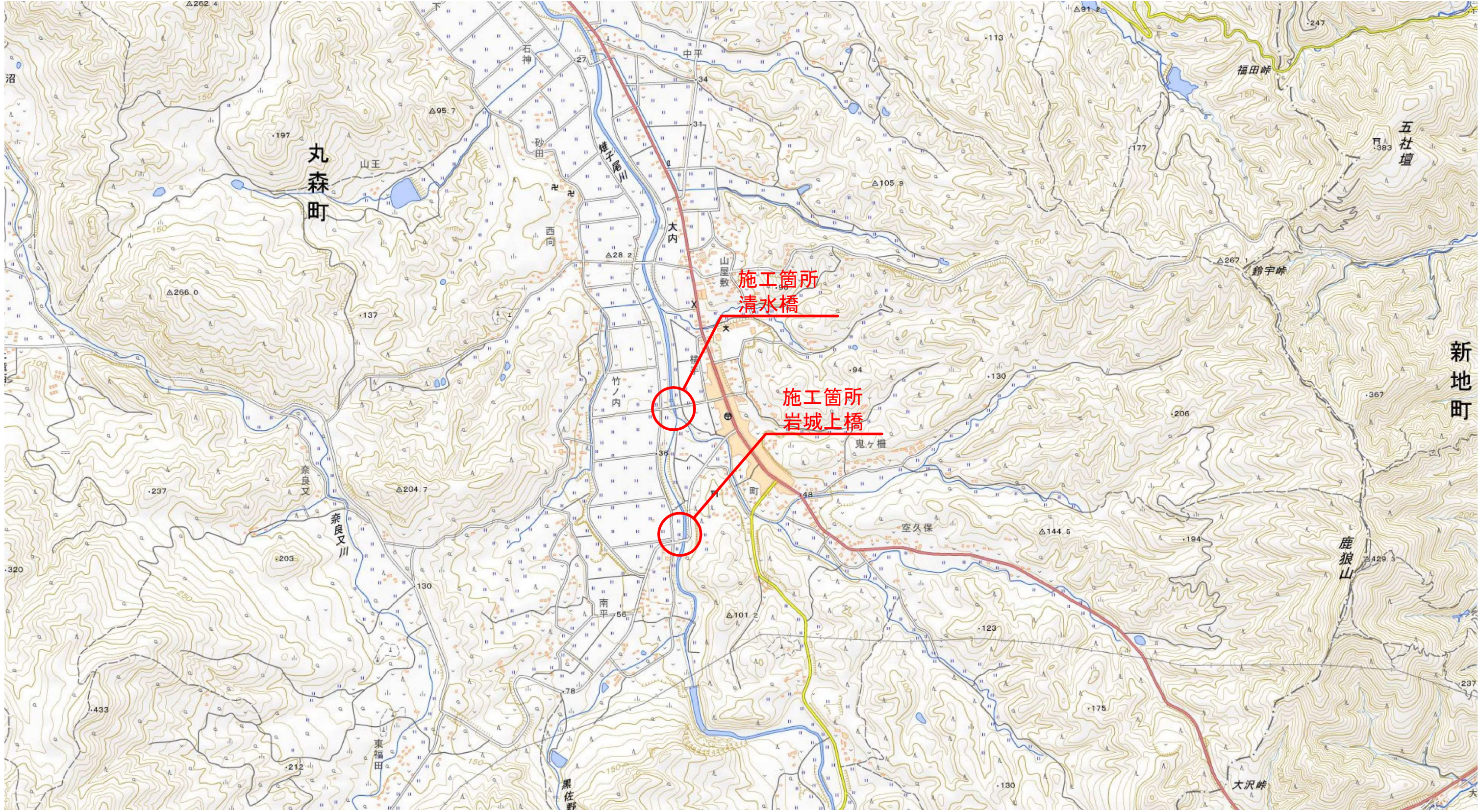
7橋修第1号 竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事 [実 施]

目 次

[illegible]

位置図

S=1:25000

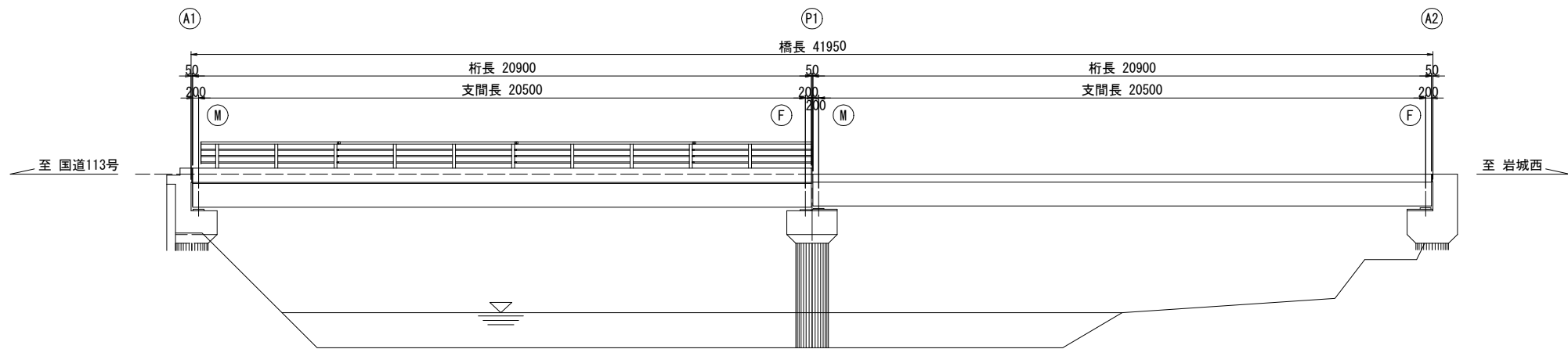


[実 施]

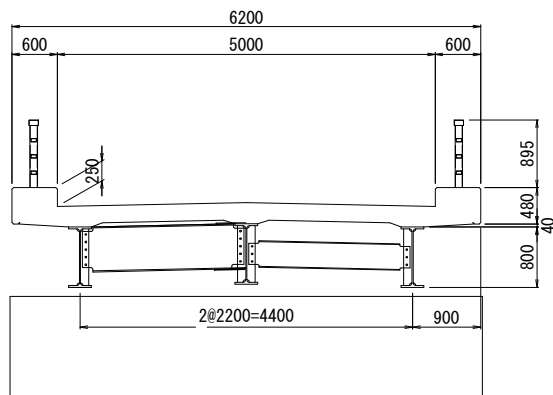
工事番号	7 橋修第 1 号	
路 線 名	竹ノ内線、大内不動線	
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内	
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事	
図 面 名	位置図	
縮 尺	S=1:25,000	位置
設 計 者		設計 年度
宮城県丸森町		図番 1 / 23

清水橋 復元一般図

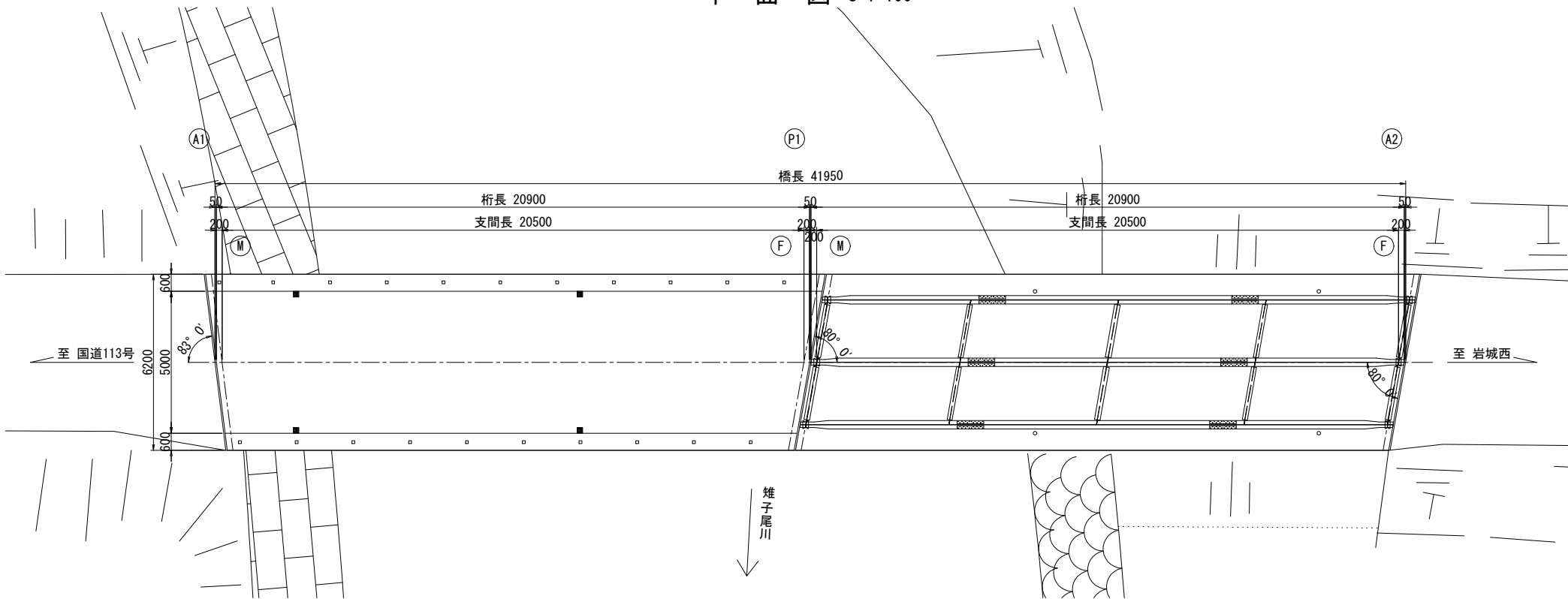
側面図 S=1:100



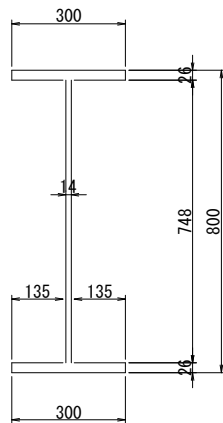
断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



主桁断面図 S=1:10



設計条件

橋梁名	清水橋
設計荷重	TL-14
橋格	二等橋
橋長	41.950m
支間長	20.500m+20.500m
全幅員	6.200m (0.600m+5.000m+0.600m)
斜角	A1:左83° 00' 00" A2:右80° 00' 00"
架設年次	昭和59年8月
適用示方書	昭和55年示方書(1980年)
添架物	なし
上部工型式	2径間単純鋼H桁合成桁橋
下部工型式	壁式橋脚(小判型)
基礎工形式	直接基礎

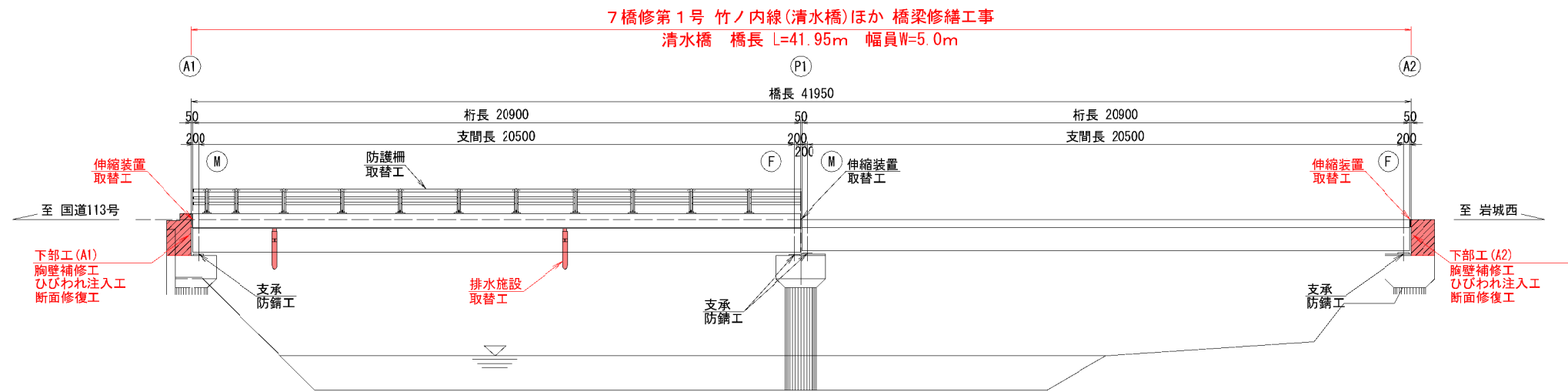
[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路線名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工事名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図面名	清水橋 復元一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	2 / 23

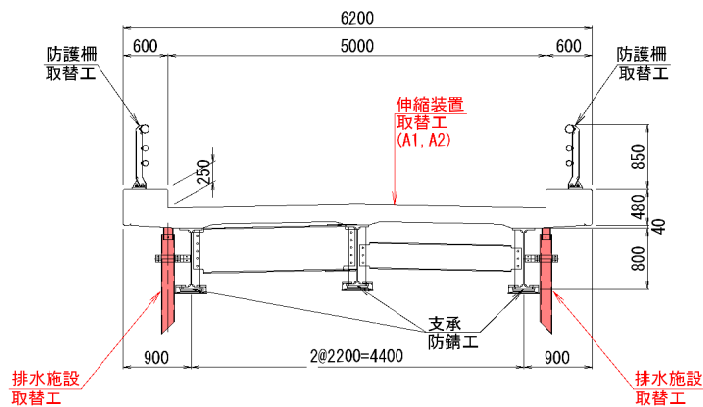
※本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

清水橋 補修一般図

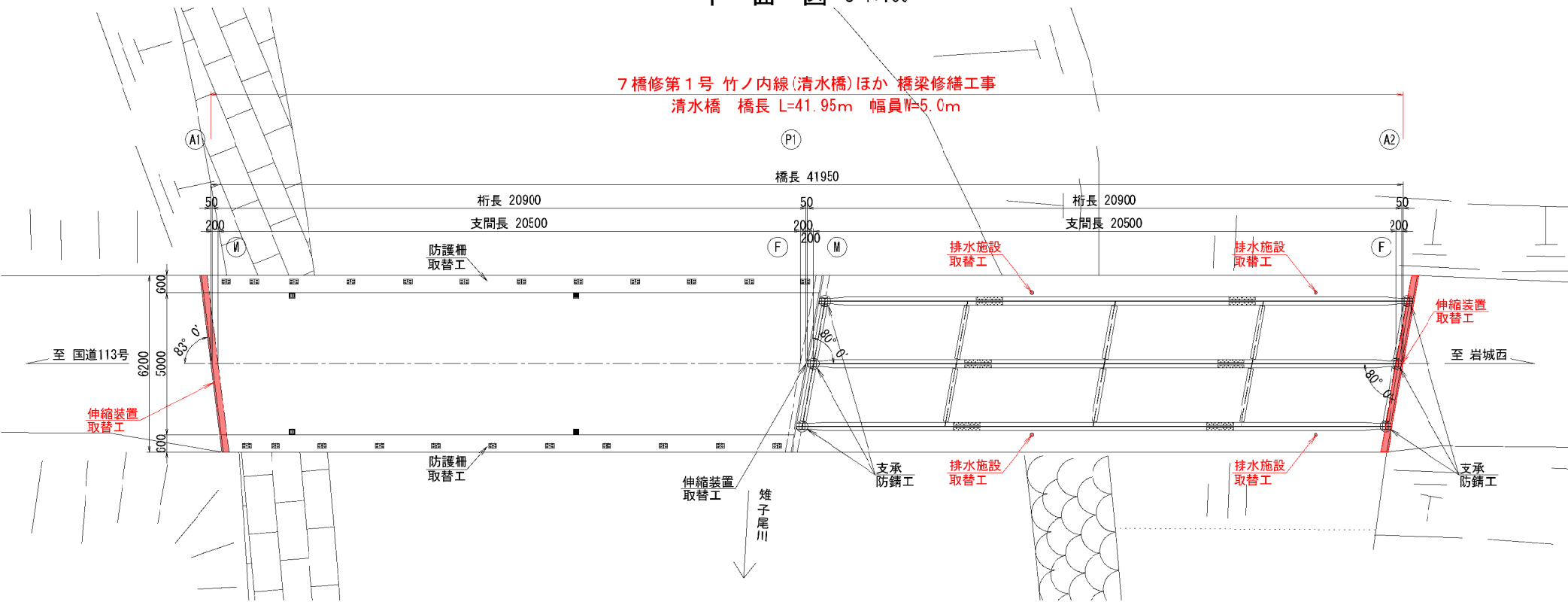
側 面 図 S=1:100



断 面 図 S=1:50



平 面 図 S=1:100



設計条件

橋 梁 名	清水橋
設計荷重	TL-14
橋 格	二等橋
橋 長	41.950m
支 間 長	20.500m+20.500m
全 幅 員	6.200m (0.600m+5.000m+0.600m)
斜 角	A1:左83° 00' 00" A2:右80° 00' 00"
架設年次	昭和59年8月
適用示方書	昭和55年示方書(1980年)
添 架 物	なし
上部工型式	2径間単純鋼桁合成桁橋
下部工型式	壁式橋脚 (小判型)
基礎工形式	直接基礎

補修項目

補修箇所	補修内容
支 承	防錆工
防 護 柵	取替工
伸縮装置	取替工 (A1, A2)
排水装置	取替工
下 部 工	胸壁補修工 ひびわれ注入工、断面修復工

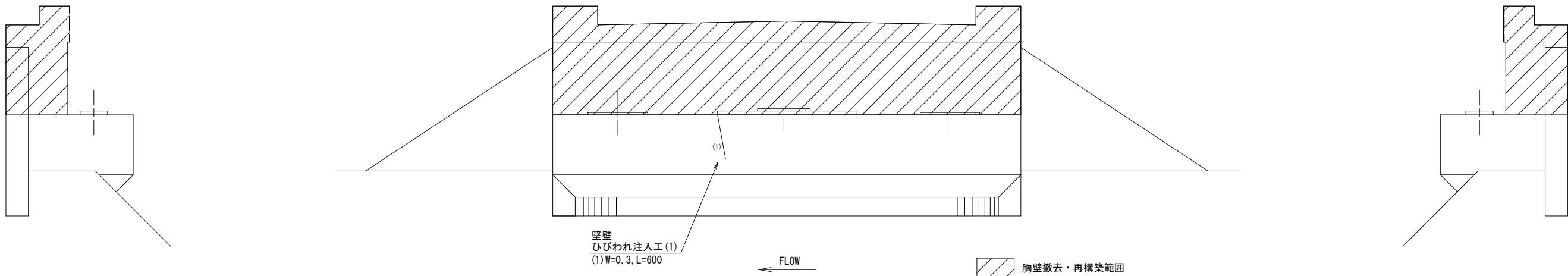
[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 補修一般図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	3 / 23

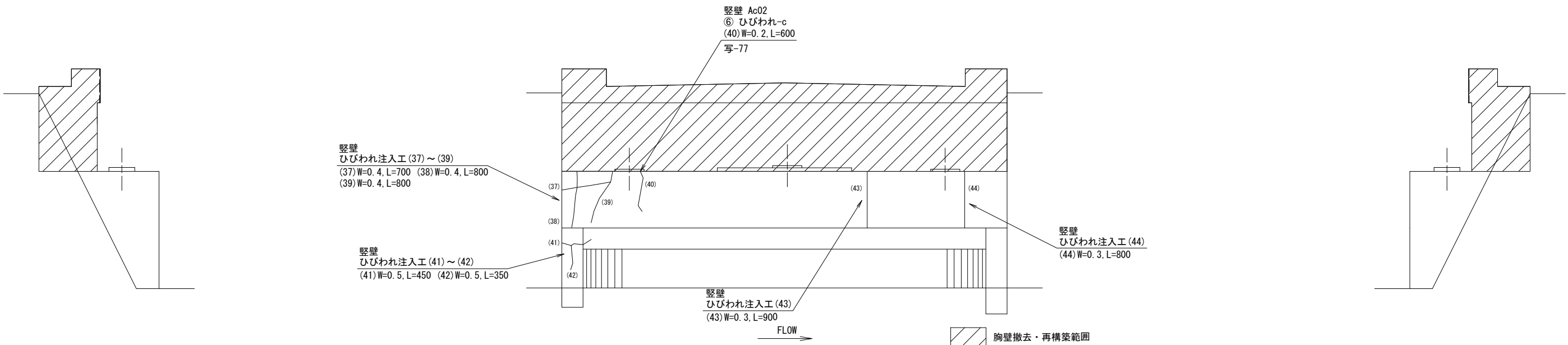
注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

清水橋 下部工補修図(その1)

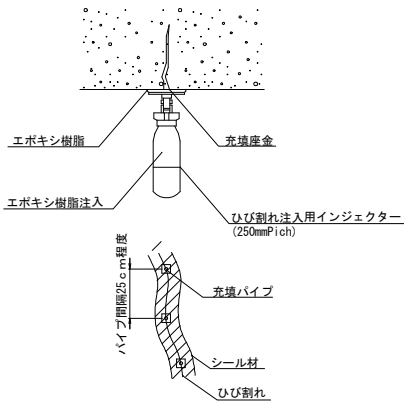
A1橋台 S=1:50



A2橋台 S=1:50



ひびわれ注入工標準図 (参考図)



- ひびわれ注入作業手順
- [step. 1] 準備工：事前調査を行い、ひび割れ箇所及び範囲を確認する。
 - [step. 2] 表面処理工：ディスクサンダーやワイヤー・ブラシでひび割れに沿って汚れを落す。
 - [step. 3] シール剤塗布：ひび割れに沿ってシール剤を塗布し、注入器具台座を取り付ける。(25cm間隔)
 - [step. 4] 注入材の注入：シール剤の硬化後、注入器具を用いて注入材を注入する。
 - [step. 5] シール剤の撤去：注入材の硬化後、シール剤及び注入器具を撤去する。

- ひびわれ注入工品質管理事項
- ・使用材料は土木補修用エポキシ樹脂注入材1種と同等品とする。
 - ・ひび割れ内部での流下現象による充填不良がないよう、ひび割れの下部から上部へ順に注入する。
 - ・注入器具に注入材を満たした後、加圧されていることを確認する。
 - ・温度による硬化時間の変化に留意し、5℃以下での施工は原則中止とする。

エポキシ樹脂材品質規格	
項 目	エポキシ樹脂材
粘度 (×10 ⁻³)	1000Pa・S以下
可使時間	30min以上
収縮率	3.0%以下

出典「構造物施工管理要領 東日本高速道路株式会社」

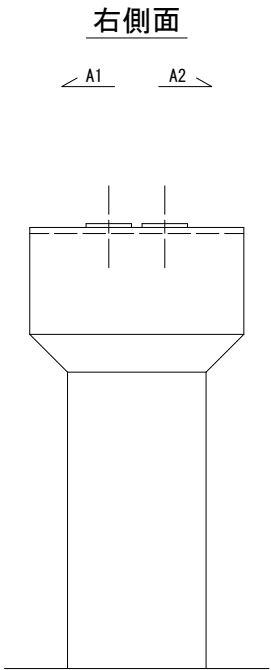
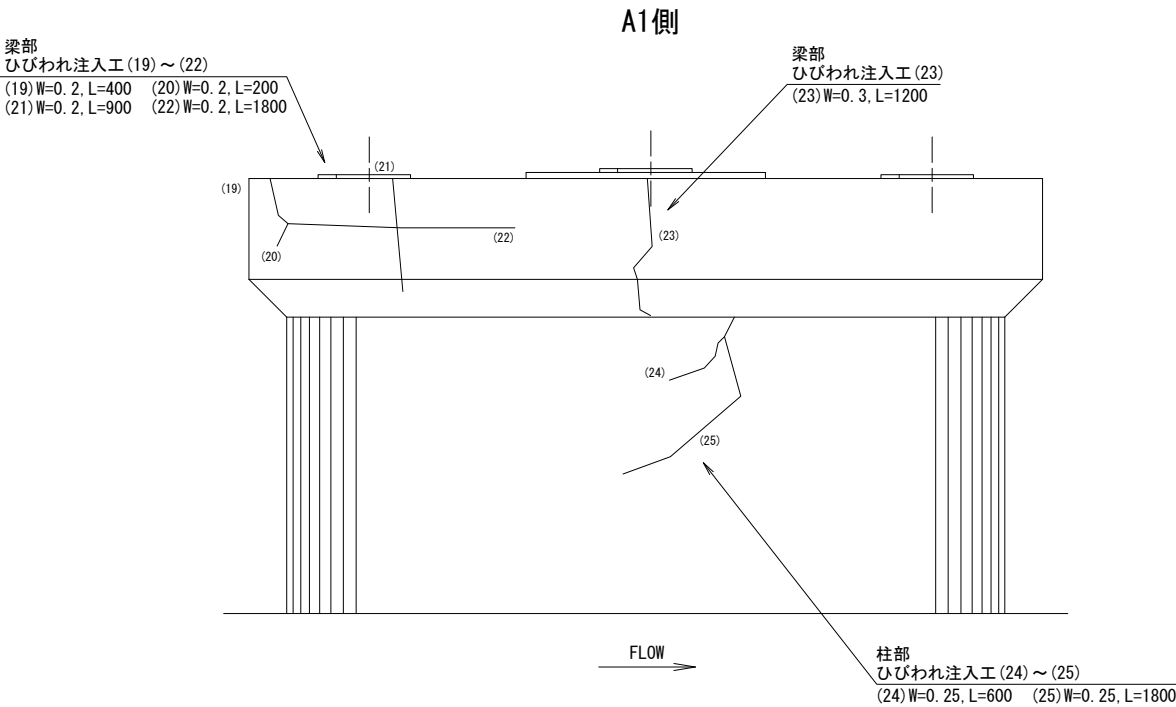
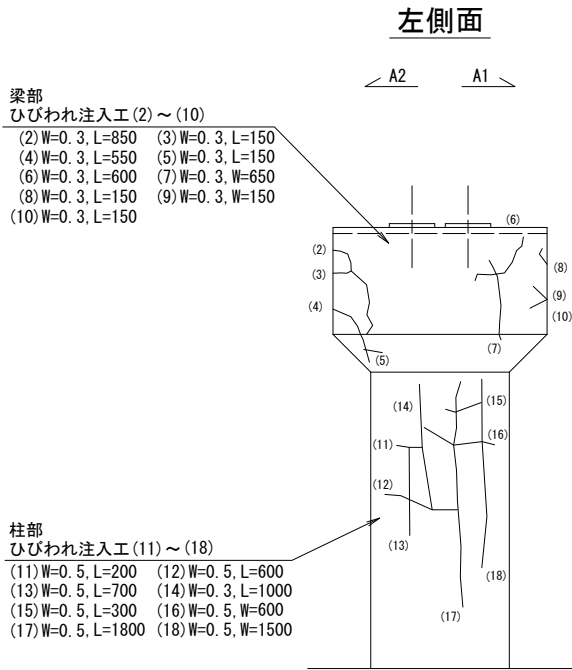
[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 下部工補修図(その1)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	4 / 23

- 注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
 2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

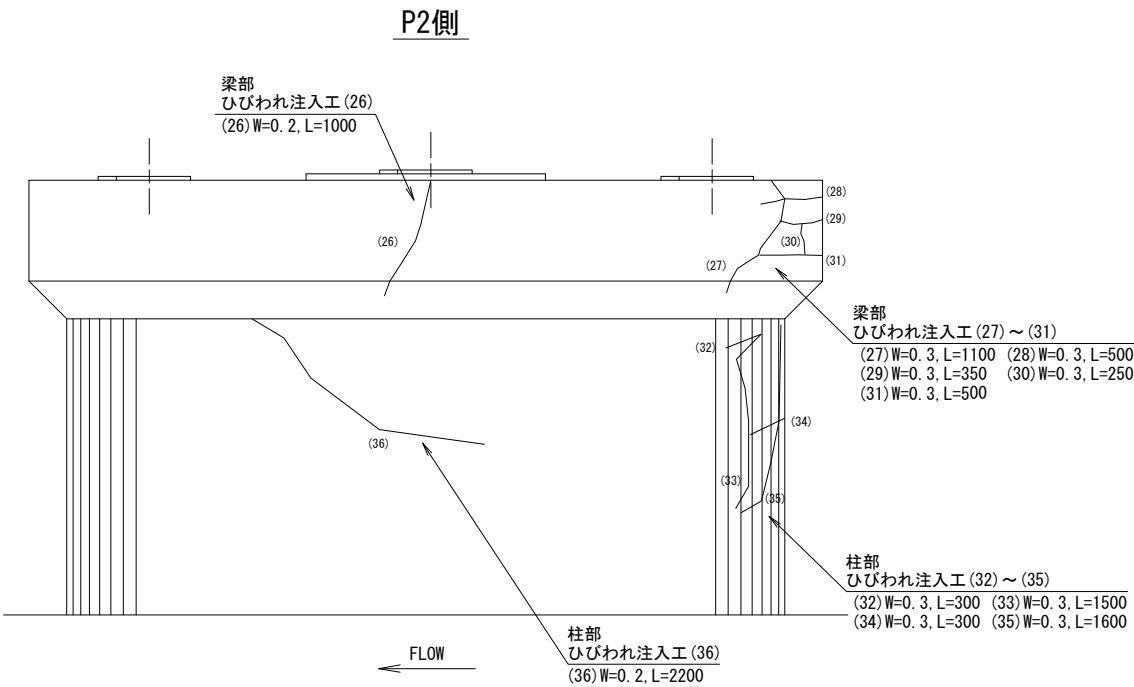
清水橋 下部工補修図(その2)

P1橋脚 S=1:50



ひびわれ注入工
(エポキシ樹脂注入材)

箇所	番号	延長 (m)	ひびわれ幅 (mm)
P1	(1)	0. 60	0. 30
	(2)	0. 85	0. 30
	(3)	0. 15	0. 30
	(4)	0. 55	0. 30
	(5)	0. 15	0. 30
	(6)	0. 60	0. 30
	(7)	0. 65	0. 30
	(8)	0. 15	0. 30
	(9)	0. 15	0. 30
	(10)	0. 15	0. 30
	(11)	0. 20	0. 50
	(12)	0. 60	0. 50
	(13)	0. 70	0. 50
	(14)	1. 00	0. 30
	(15)	0. 30	0. 50
	(16)	0. 60	0. 50
	(17)	1. 80	0. 50
	(18)	1. 50	0. 50
	(19)	0. 40	0. 20
	(20)	0. 20	0. 20
	(21)	0. 90	0. 20
	(22)	1. 80	0. 20
	(23)	1. 20	0. 30
	(24)	0. 60	0. 25
	(25)	1. 80	0. 25
	(26)	1. 00	0. 20
	(27)	1. 10	0. 30
	(28)	0. 50	0. 30
	(29)	0. 35	0. 30
	(30)	0. 25	0. 30
	(31)	0. 50	0. 30
	(32)	0. 30	0. 30
	(33)	1. 50	0. 30
	(34)	0. 30	0. 30
	(35)	1. 60	0. 30
	(36)	2. 20	0. 20
A2	(37)	0. 70	0. 40
	(38)	0. 80	0. 40
	(39)	0. 80	0. 40
	(40)	0. 60	0. 20
	(41)	0. 45	0. 50
	(42)	0. 35	0. 50
	(43)	0. 90	0. 30
	(44)	0. 80	0. 30
総延長 (m)		32. 60	



[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 下部工補修図(その2)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	5 / 23

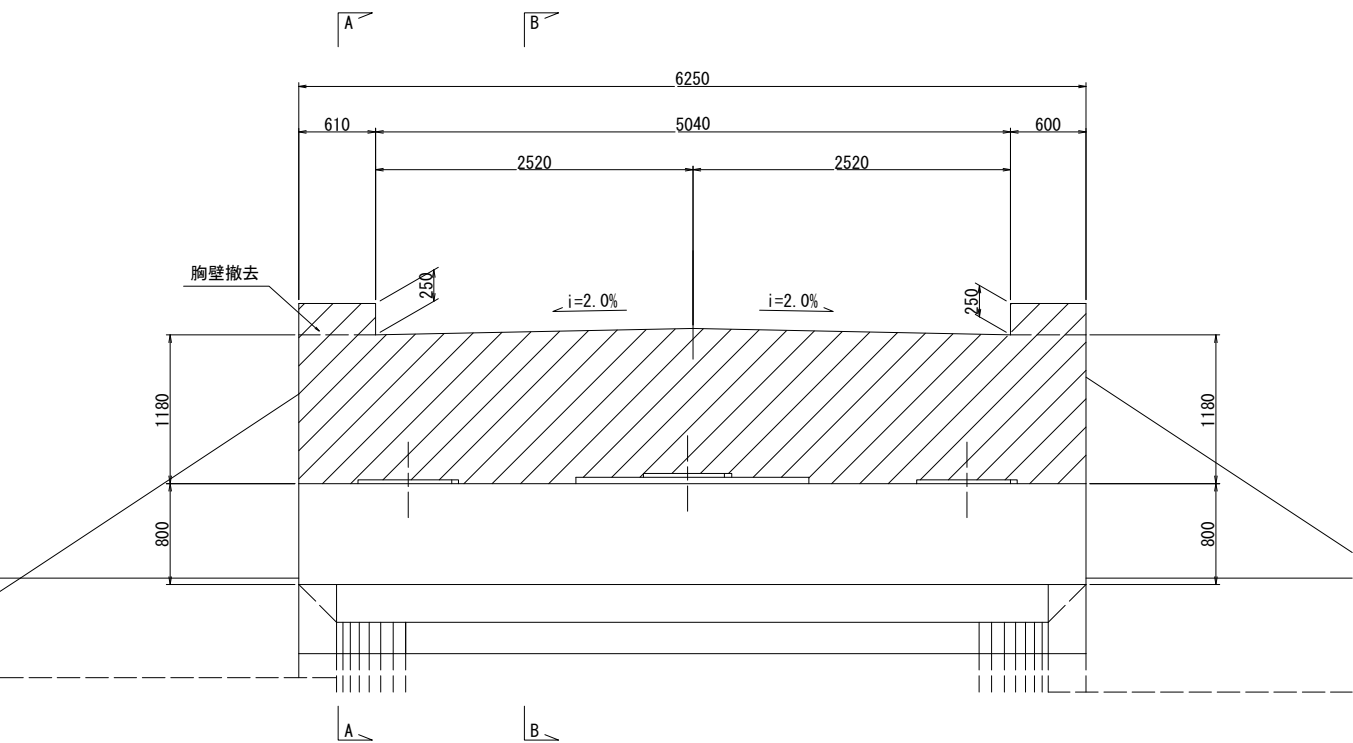
注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

清水橋 胸壁補修図(その1)

A1橋台 構造図

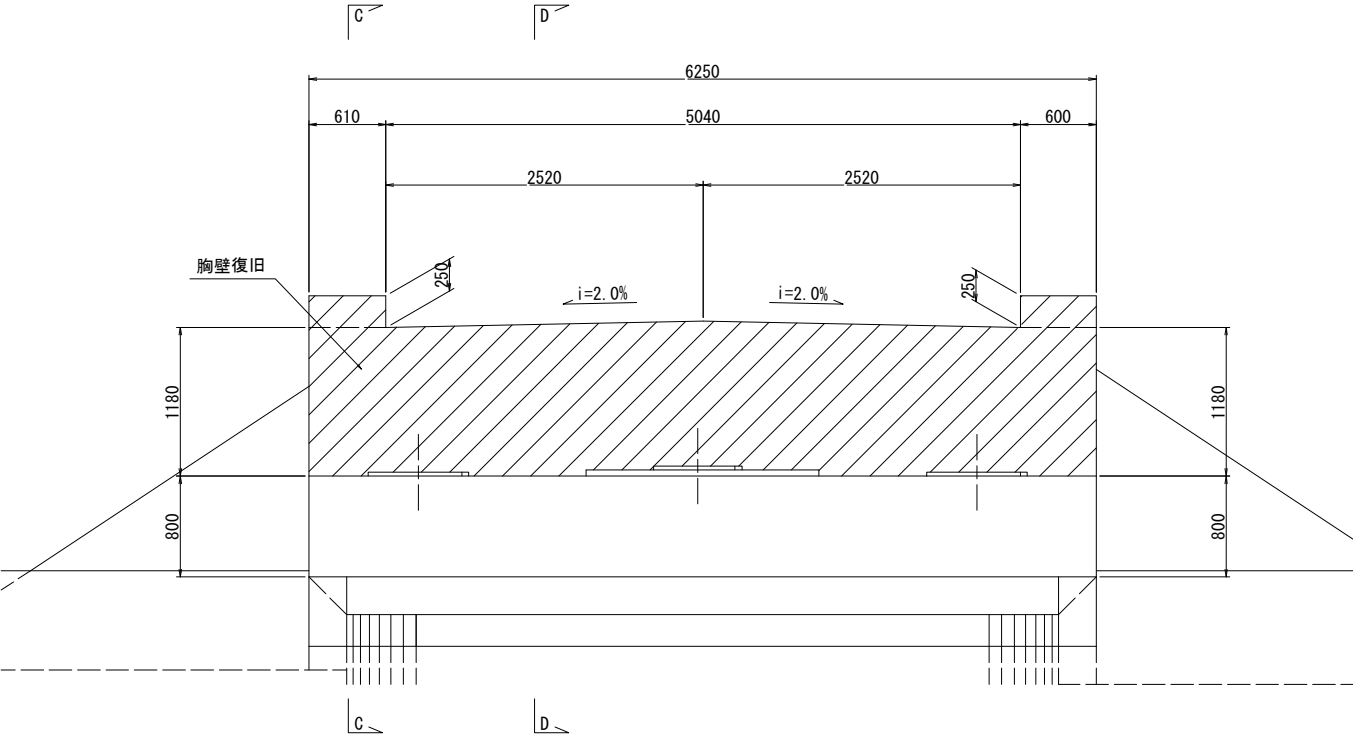
撤去図 S=1:30

正面

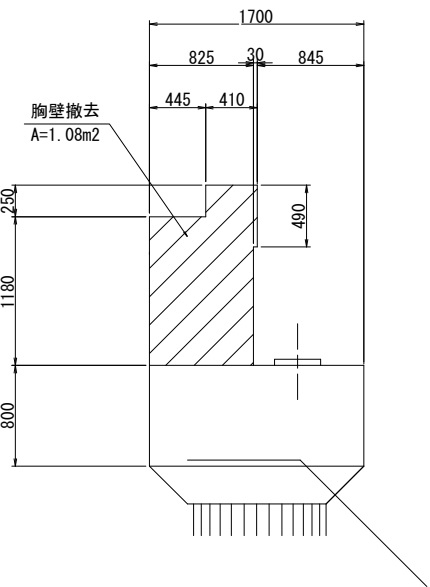


復旧図 S=1:30

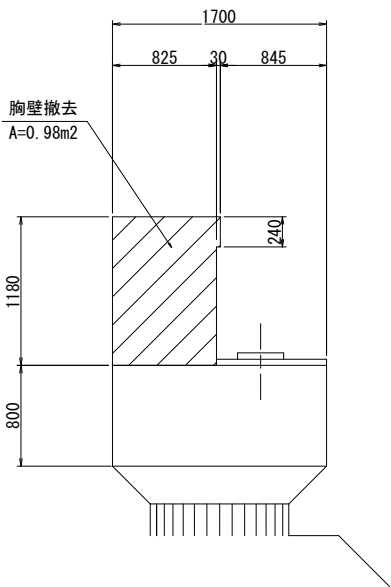
正面



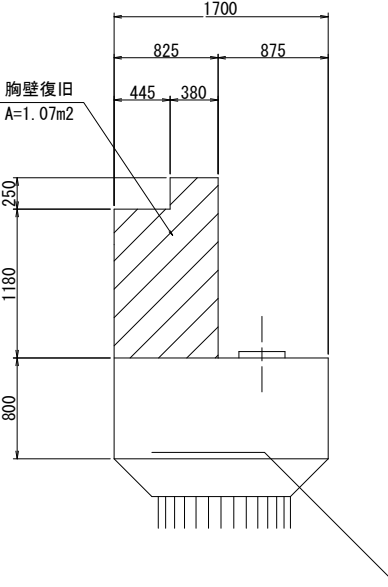
A - A



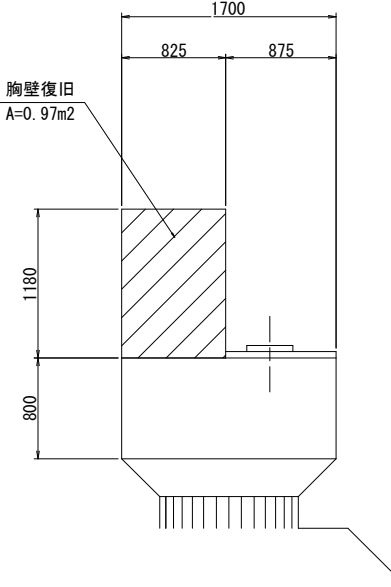
B - B



C - C



D - D



[実施]

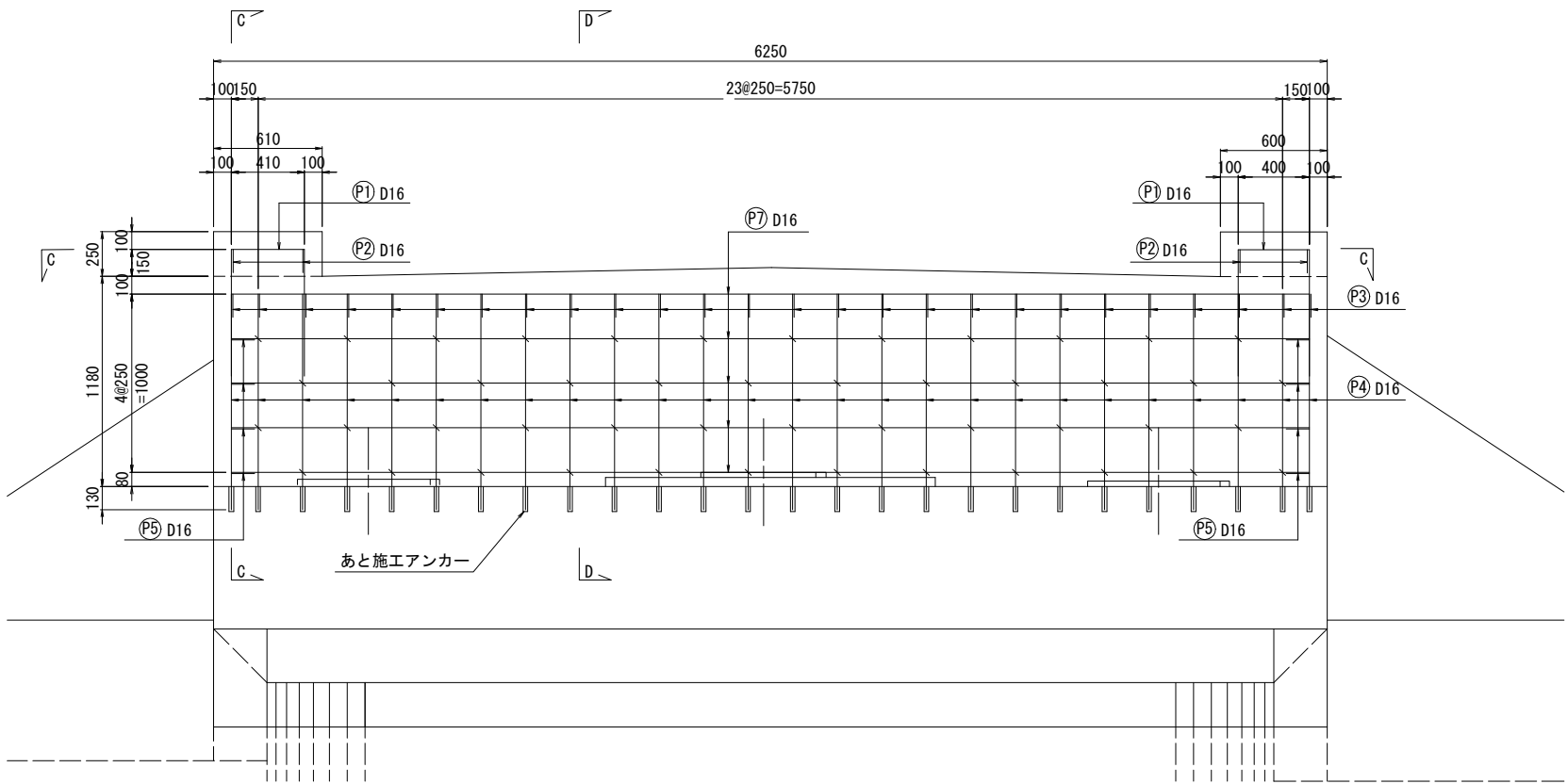
工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 胸壁補修図(その1)		
縮 尺	図 示	位置	
		設計年度	
設 計 者			
宮城県丸森町		図番	6 / 23

※本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

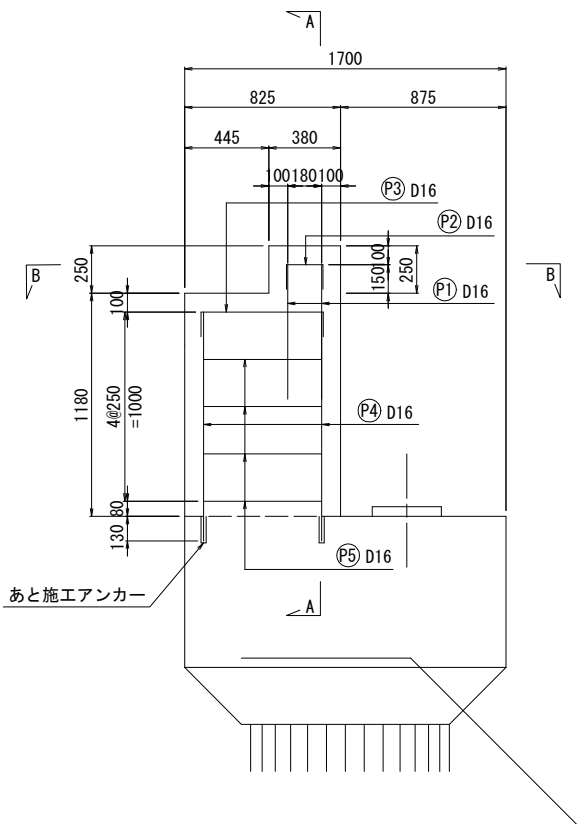
清水橋 胸壁補修図(その2)

A1橋台 配筋図

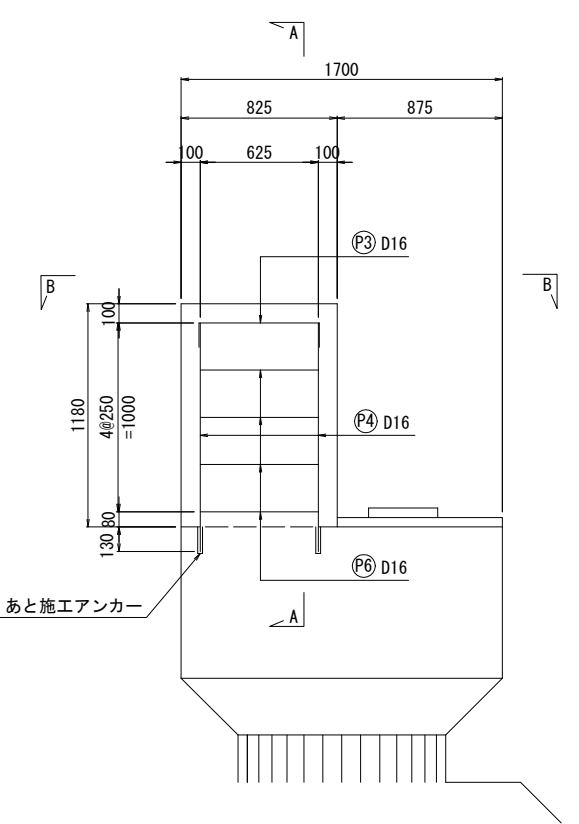
断面図(A-A) S=1:20



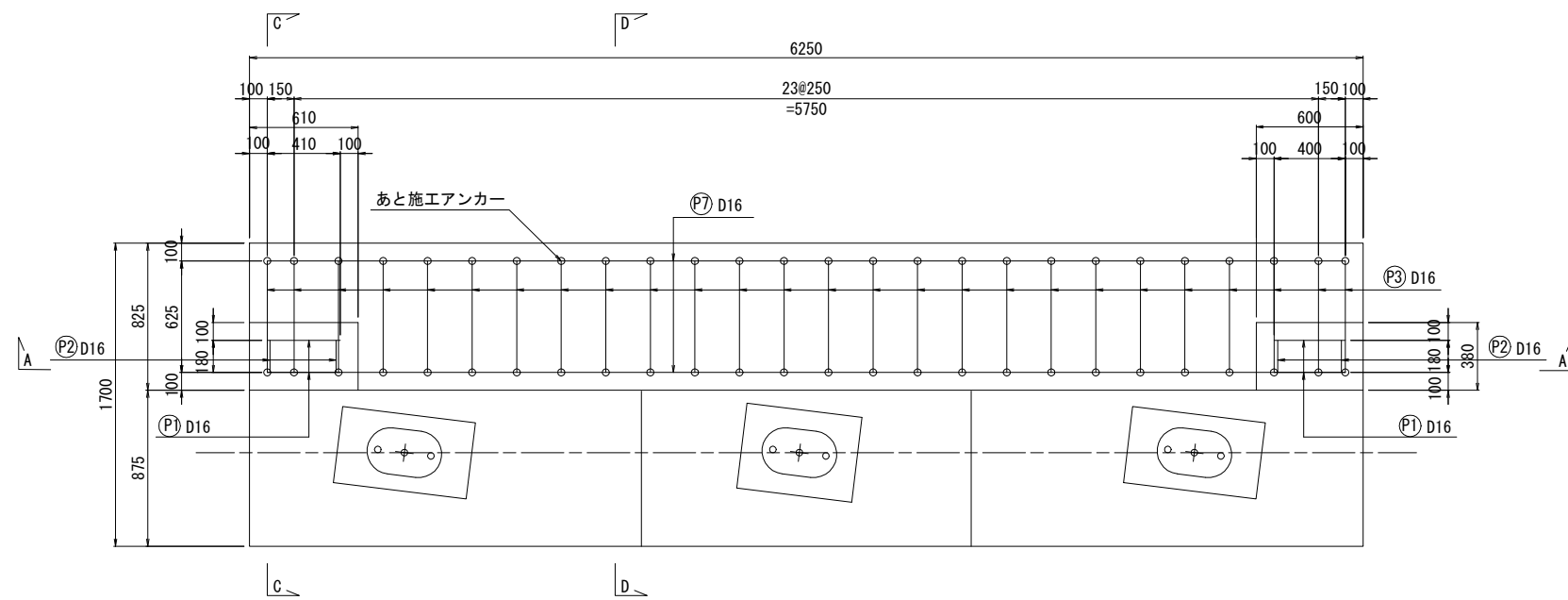
断面図(C-C) S=1:20



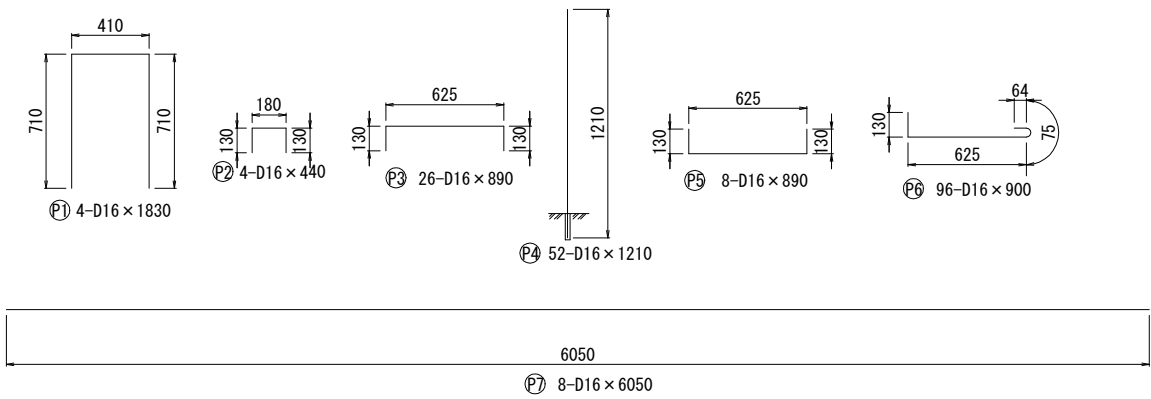
断面図(D-D) S=1:20



断面図(B-B) S=1:20



鉄筋加工図 S=1:20



鉄筋重量表

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
P 1	D16	1830	4	1.56	2.85	12	
2	"	440	4	"	0.69	3	
3	"	890	26	"	1.39	37	
4	"	1210	52	"	1.89	99	
5	"	890	8	"	1.39	12	
6	"	900	96	"	1.40	135	
7	"	6050	8	"	9.44	76	
D16 = 374 kg (SD345)							
あと施工アンカー(接着系注入式) 52 個							

[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 胸壁補修図(その2)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県丸森町	図番	7 / 23	

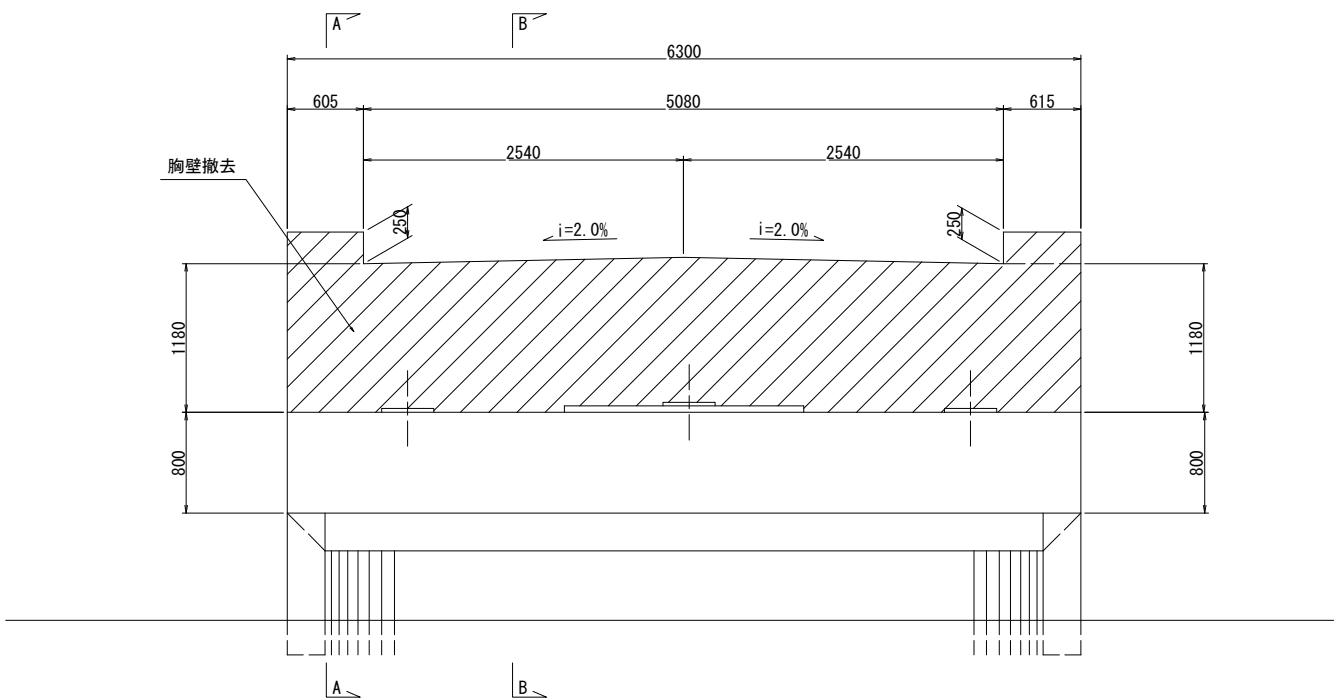
※本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

清水橋 胸壁補修図(その3)

A2橋台 構造図

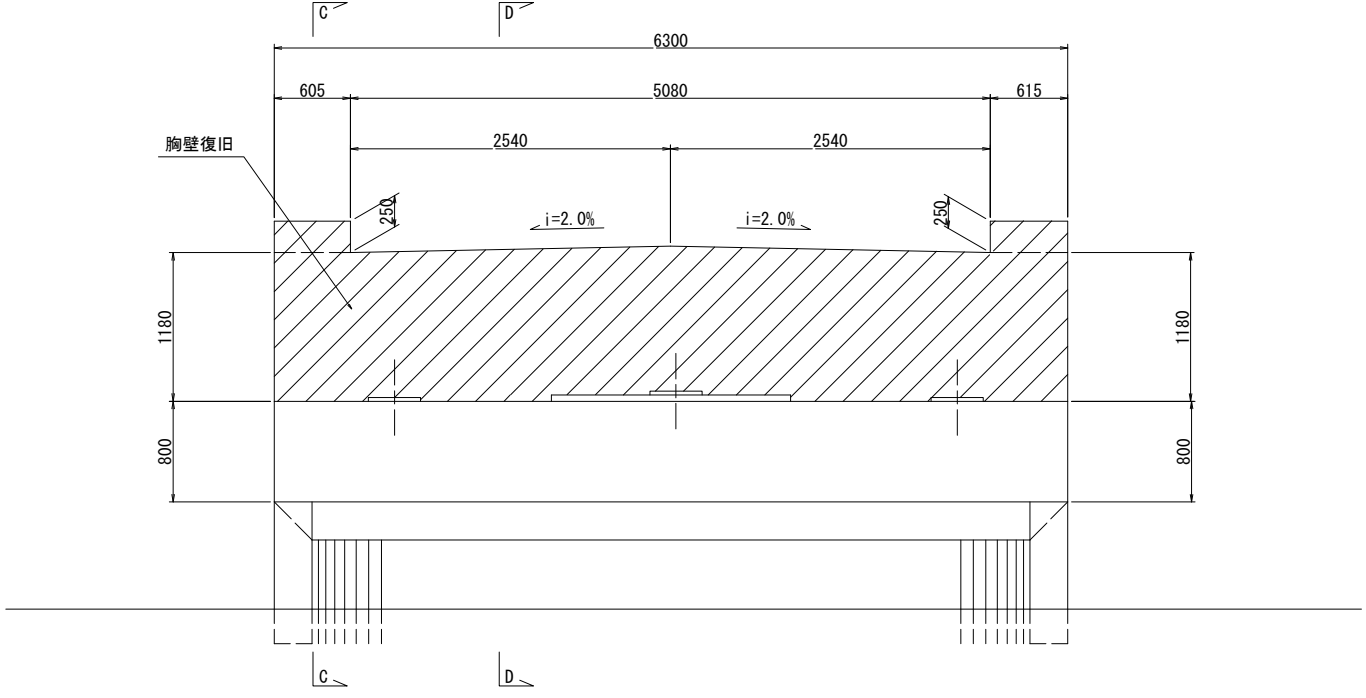
撤去図 S=1:30

正面

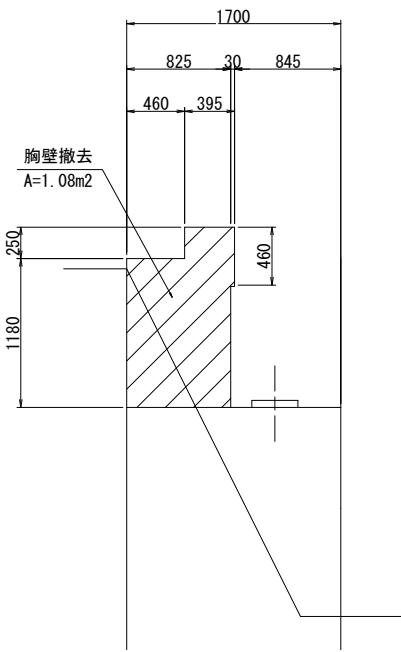


復旧図 S=1:30

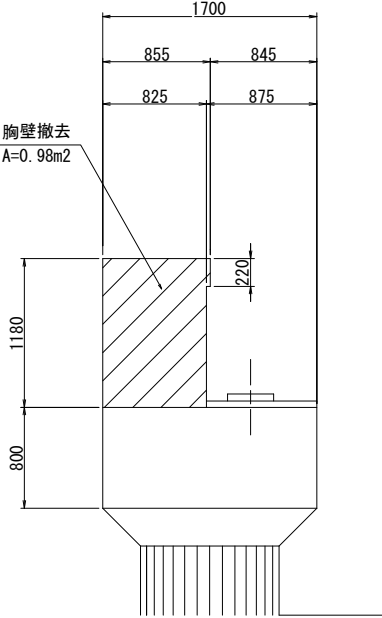
正面



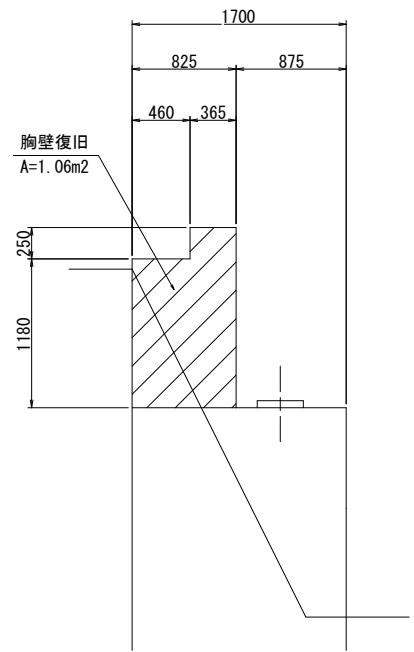
A - A



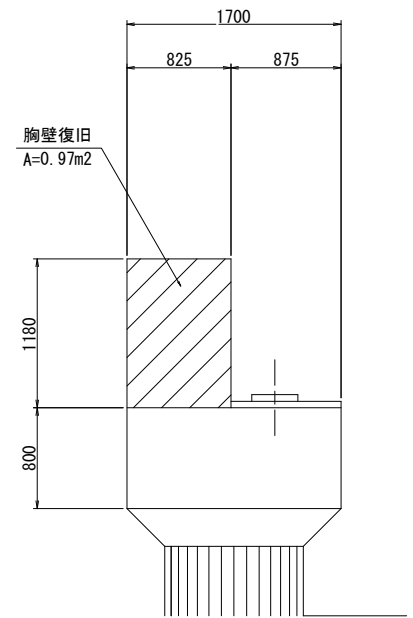
B - B



C - C



D - D



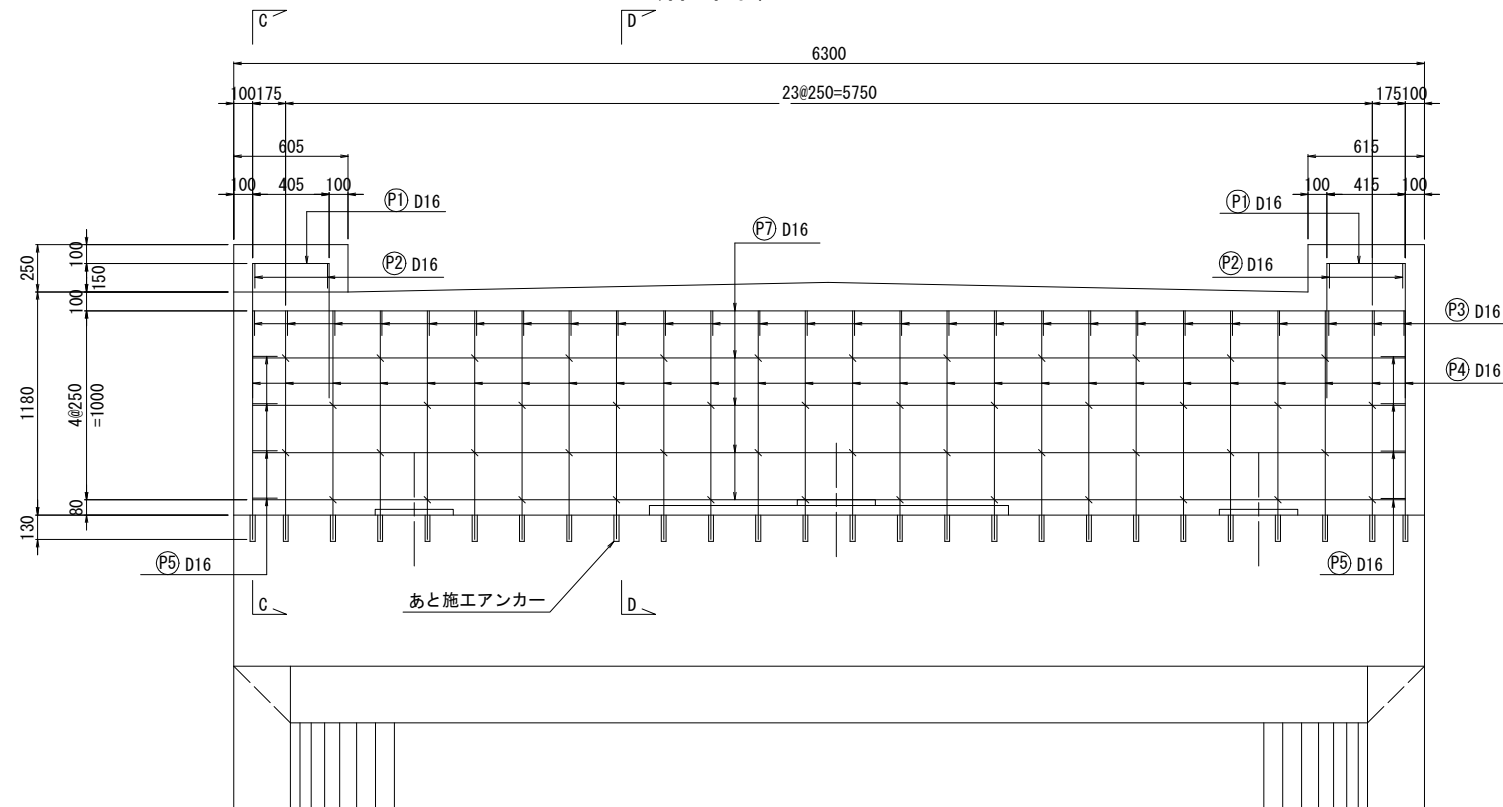
[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 胸壁補修図(その3)		
縮 尺	図 示	位置	
		設計 年度	
設 計 者		図番	8 / 23
		宮城県丸森町	

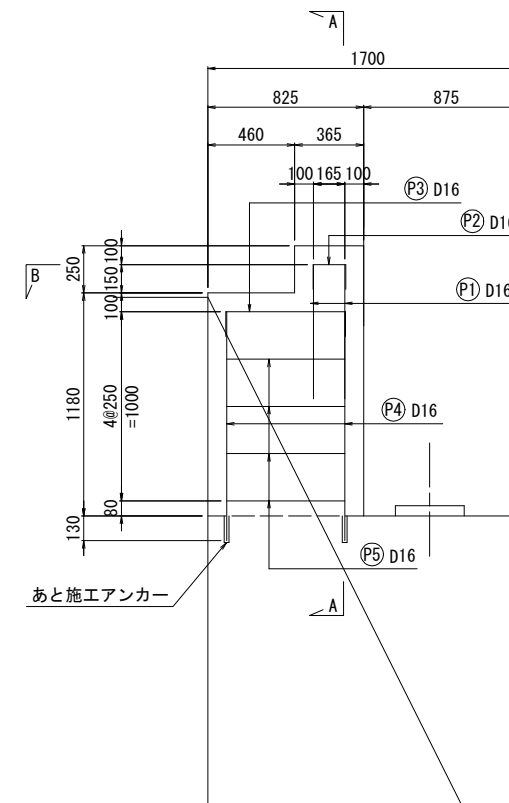
※本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

A2橋台 配筋図

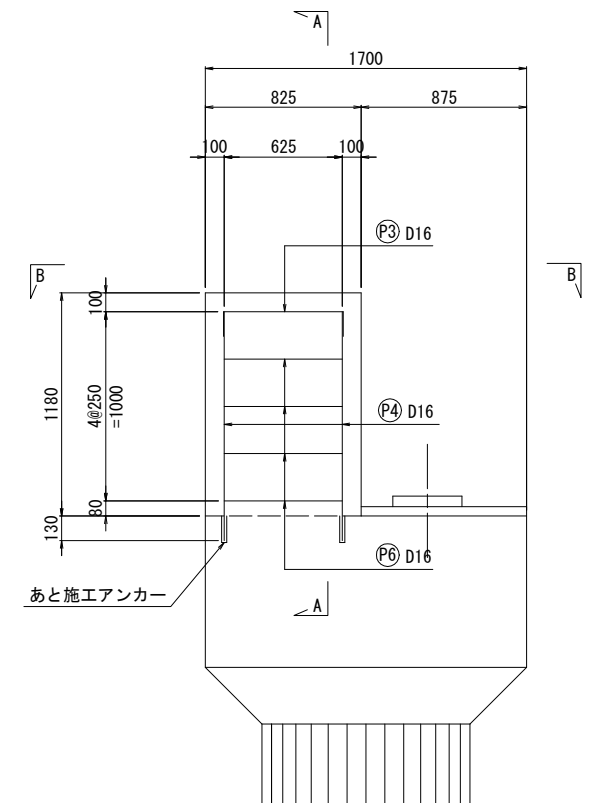
断面図 (A-A) S=1:20



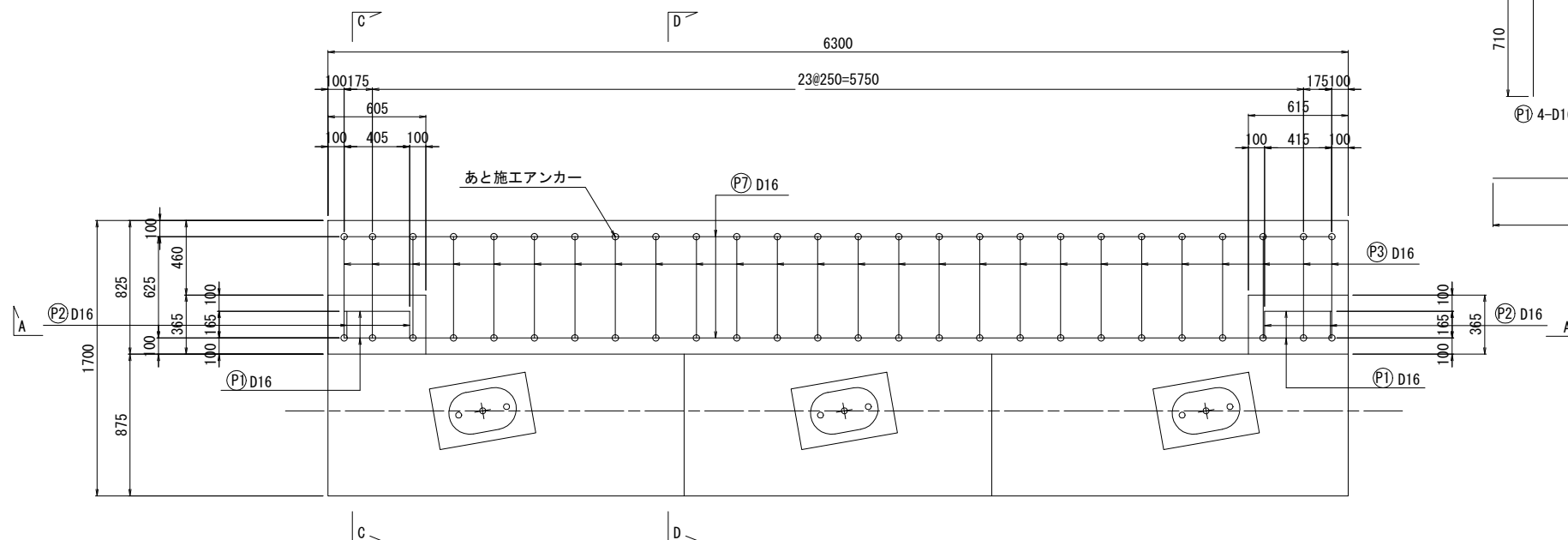
断面图 (C-C) 1:20



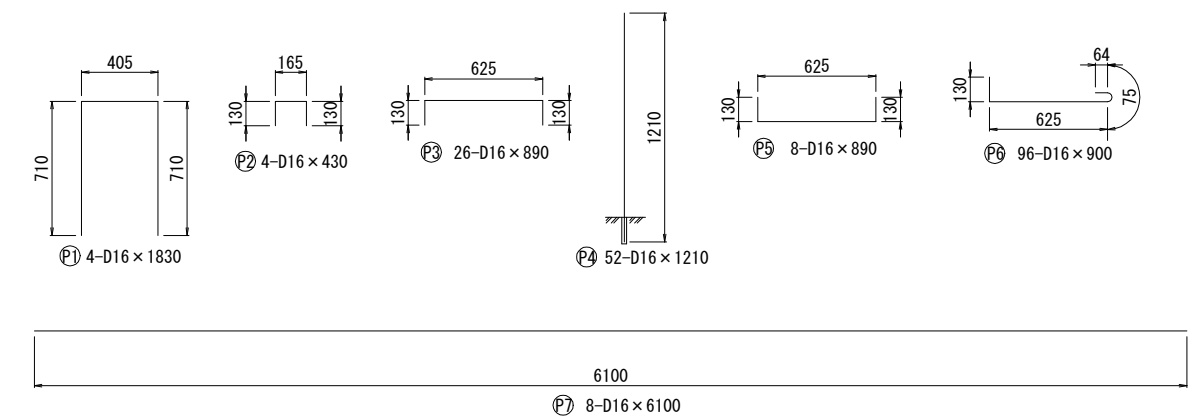
断面図 (D-D) S=1:20



断面図 (B-B) S=1:20



鉄筋加工図 S=1:20



鉄筋重量表

[illegible]

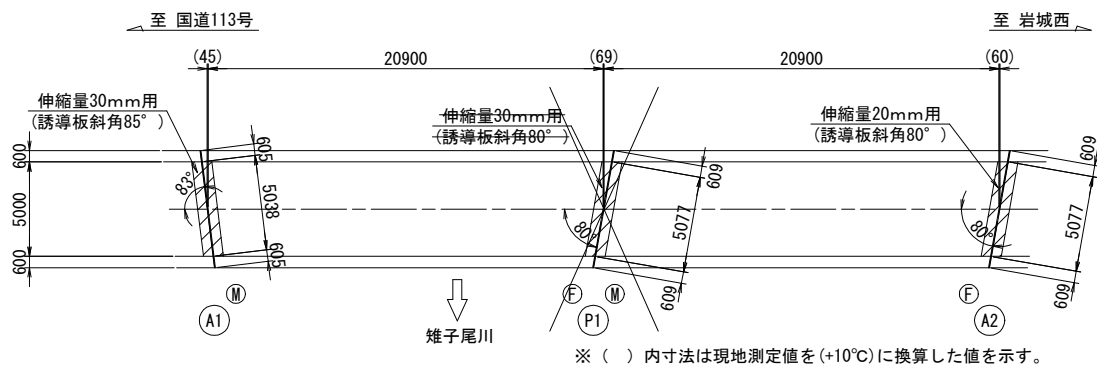
※本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

[実 施]

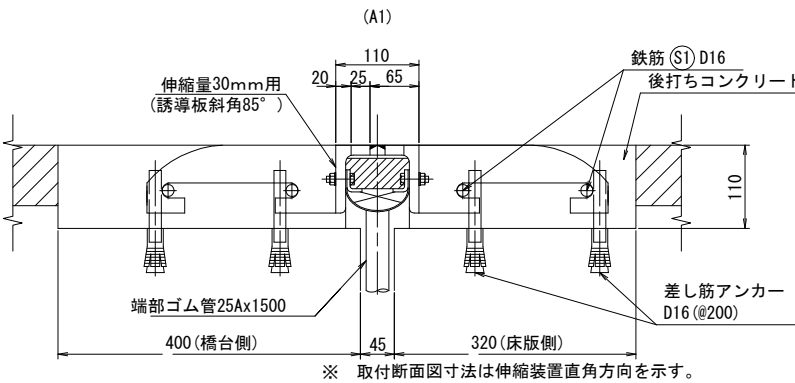
工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水河)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水河 胸壁補修図(その4)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県丸森町		図番	9 / 23

清水橋 伸縮装置補修図 〔参考図〕

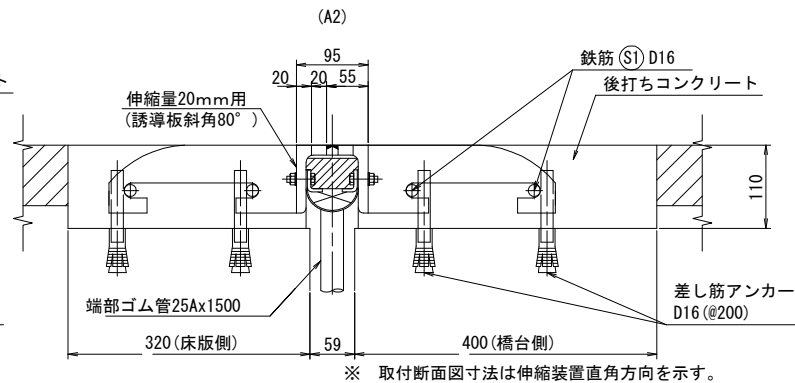
平面図 S=1:200



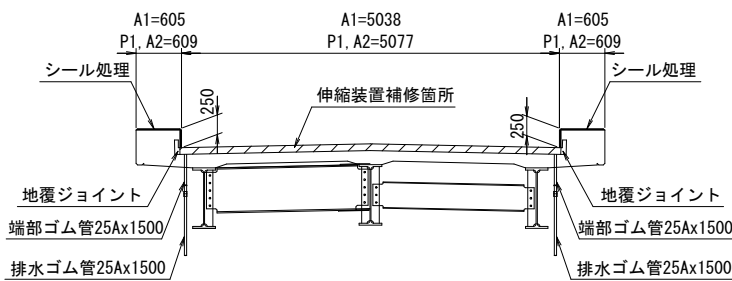
取付断面図 S=1:5



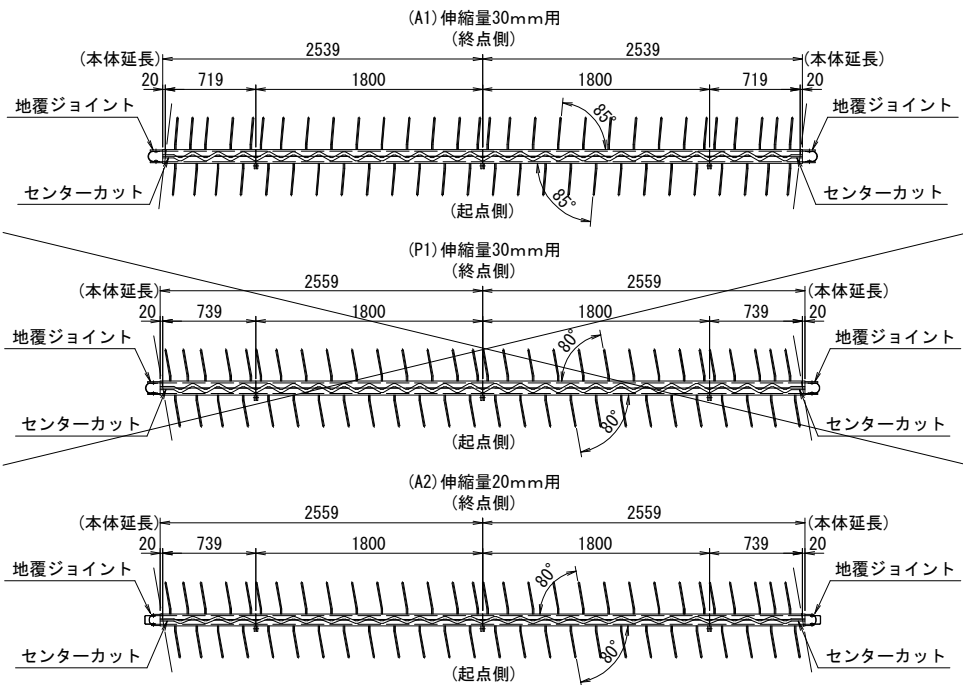
取付断面図 S=1:5



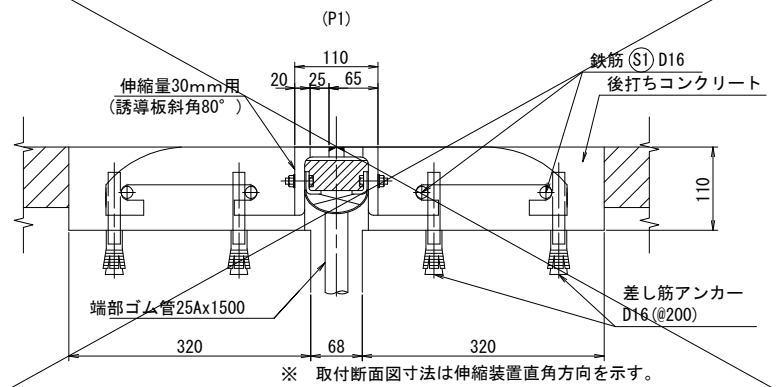
断面図 S=1:50



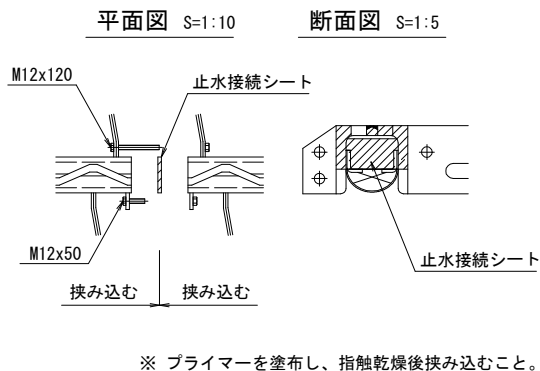
製品割付図 S=1:30



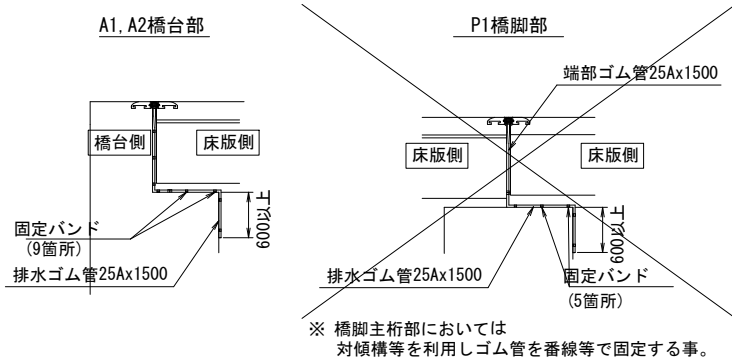
取付断面図 S=1:5



接続部止水接続シート詳細図



排水ゴム管詳細図 S=1:50



数量表

品名	仕様・規格	単位	A1	P1	A2	合計	備考
伸縮装置	伸縮量20mm用	m	-	-	5.118	5.118	本体延長含む
伸縮装置	伸縮量30mm用	m	5.078	5.118	-	10.196	本体延長含む
地覆ジョイント		箇所	-	-	2	2	伸縮量20mm対応型
地覆ジョイント		箇所	2	2	-	4	伸縮量30mm対応型
止水接続シート		枚	5	5	5	15	
鉄筋(S1) (通し筋)	D16 SD345	kg	31.44	31.68	31.68	94.80	
差し筋アンカー	D16付 (L=260)	本	112	112	112	336	
超速硬コンクリート	$\sigma_{th}=24.0N/mm^2$	m ³	0.399	0.357	0.402	1.158	
シール材	低モジュラス	ℓ	1.85	2.85	2.47	7.17	地覆部
バックアップ材		ℓ	3.85	5.93	5.15	14.93	地覆部
端部ゴム管		本	2	2	2	6	25Ax1500
排水ゴム管		組	2	2	2	6	25Ax1500 固定バンド含む

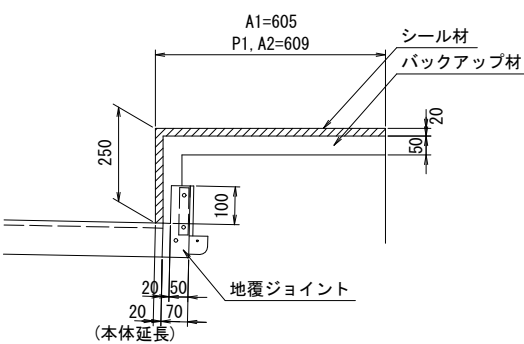
※ 図面寸法は、標準温度時の値とする。
※ 材料製作前に必ず現地寸法の確認を行う事。
※ 止水構造は接着剤や加硫接着のみの止水構造ではなく支持用の部材を用いて支持する構造である事。
※ 押込力10KN対応型のものとする。
※ 50年相当の止水性能 (NEXCO試験法438の実施)、および耐久性を有する製品とする。

注) 1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

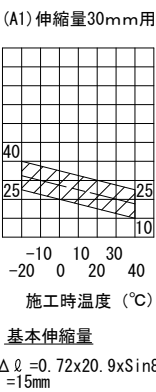
〔実施〕

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 伸縮装置補修図〔参考図〕		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	10 / 23

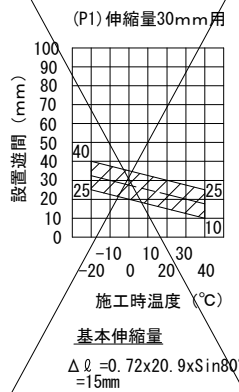
地覆部詳細図 S=1:10



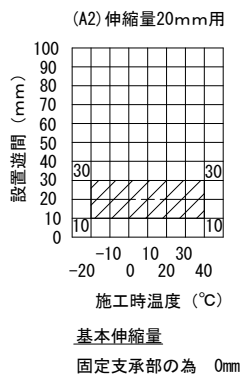
遊間設置表



遊間設置表

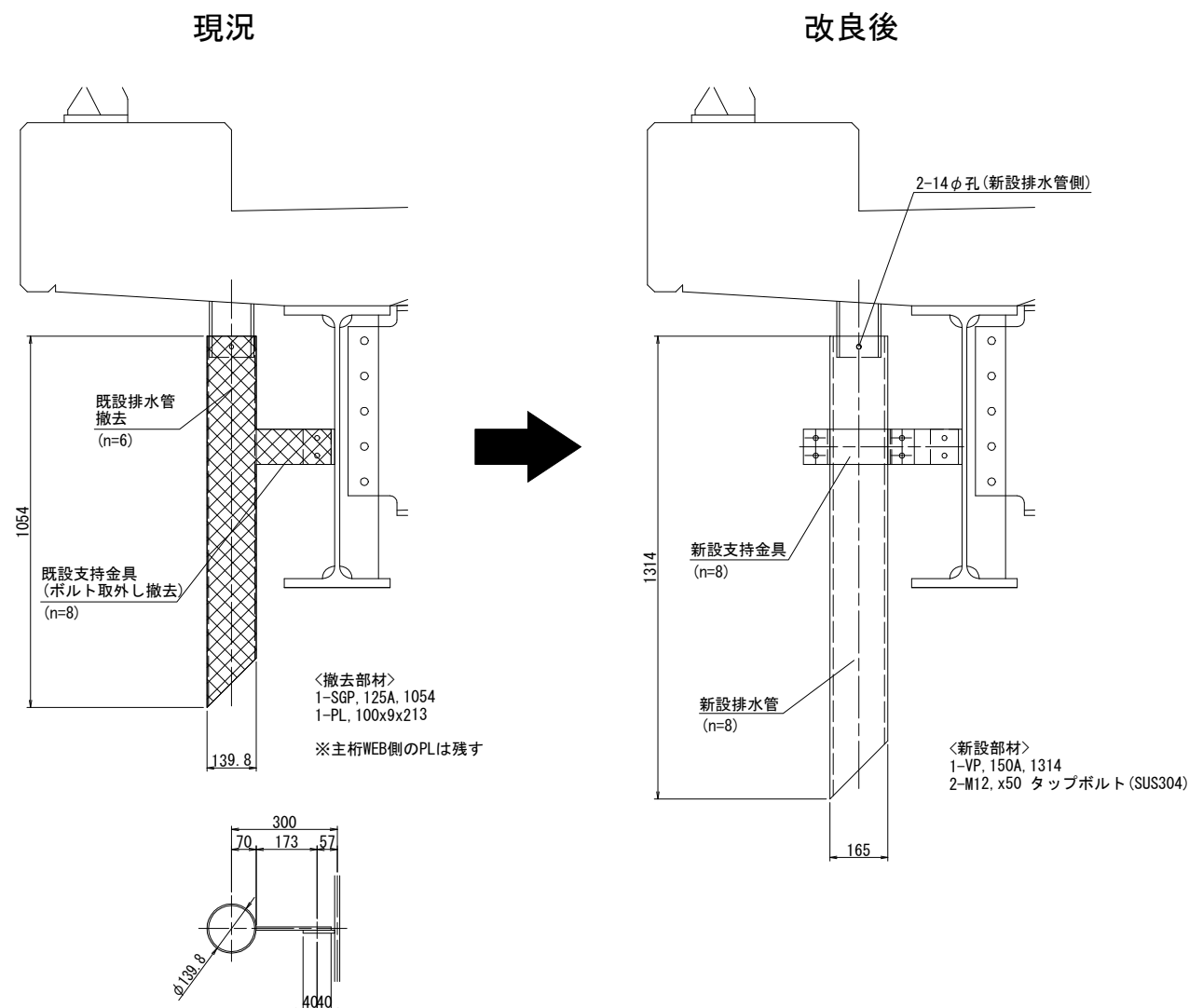


遊間設置表

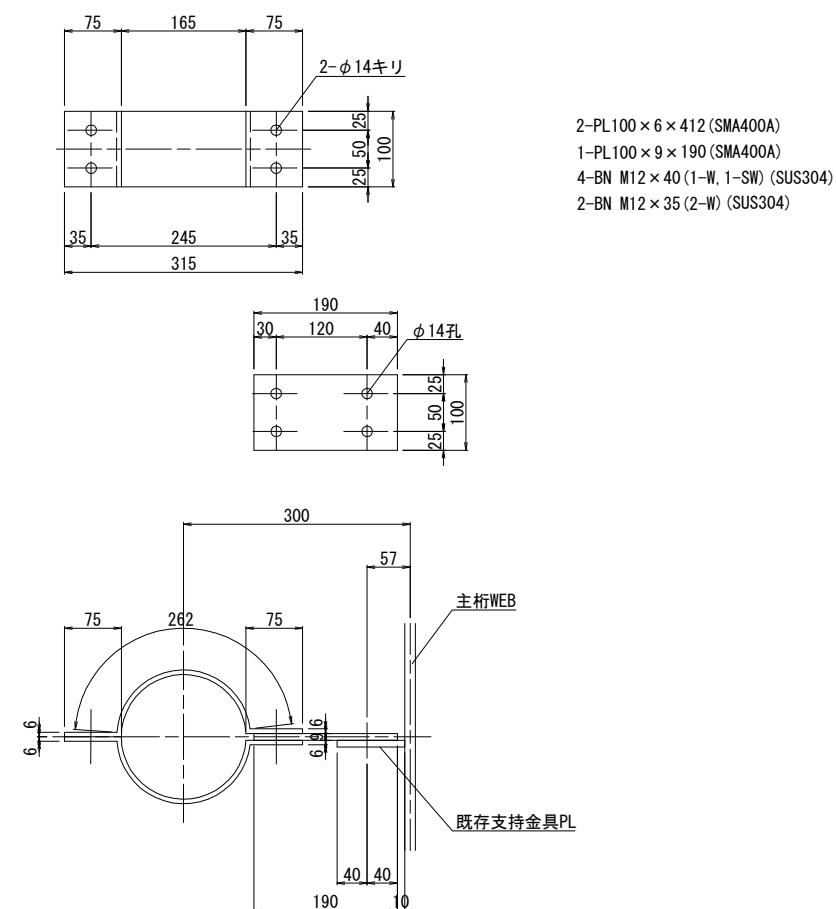


清水橋 排水施設補修図

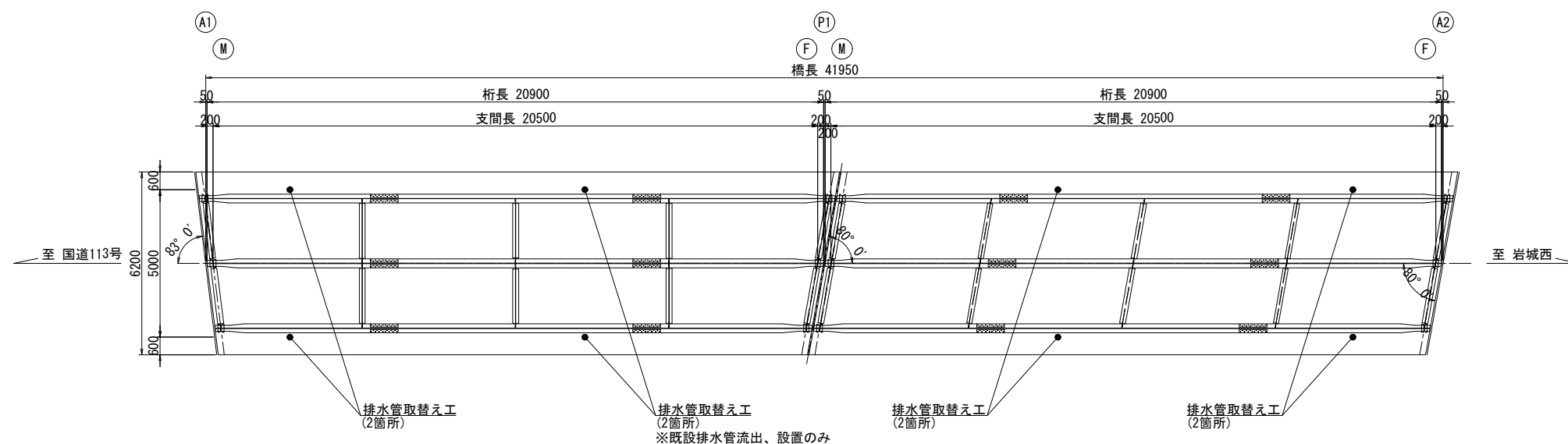
断面図 S=1:10



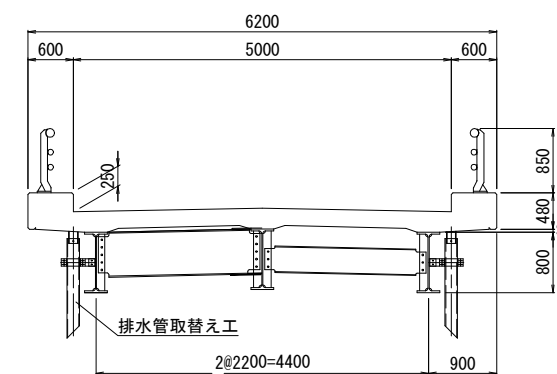
支持金具詳細図 S=1:5
 〈製作数：8〉



配置図 S=1:100



断面図 S=1:50



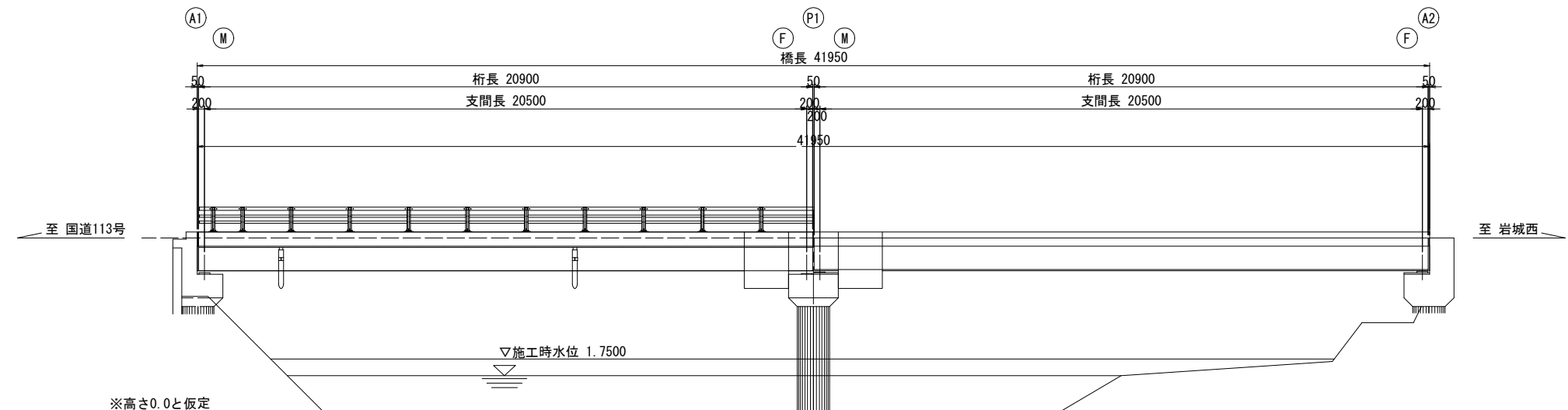
[实施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 排水施設補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県丸森町		図番	11 / 23

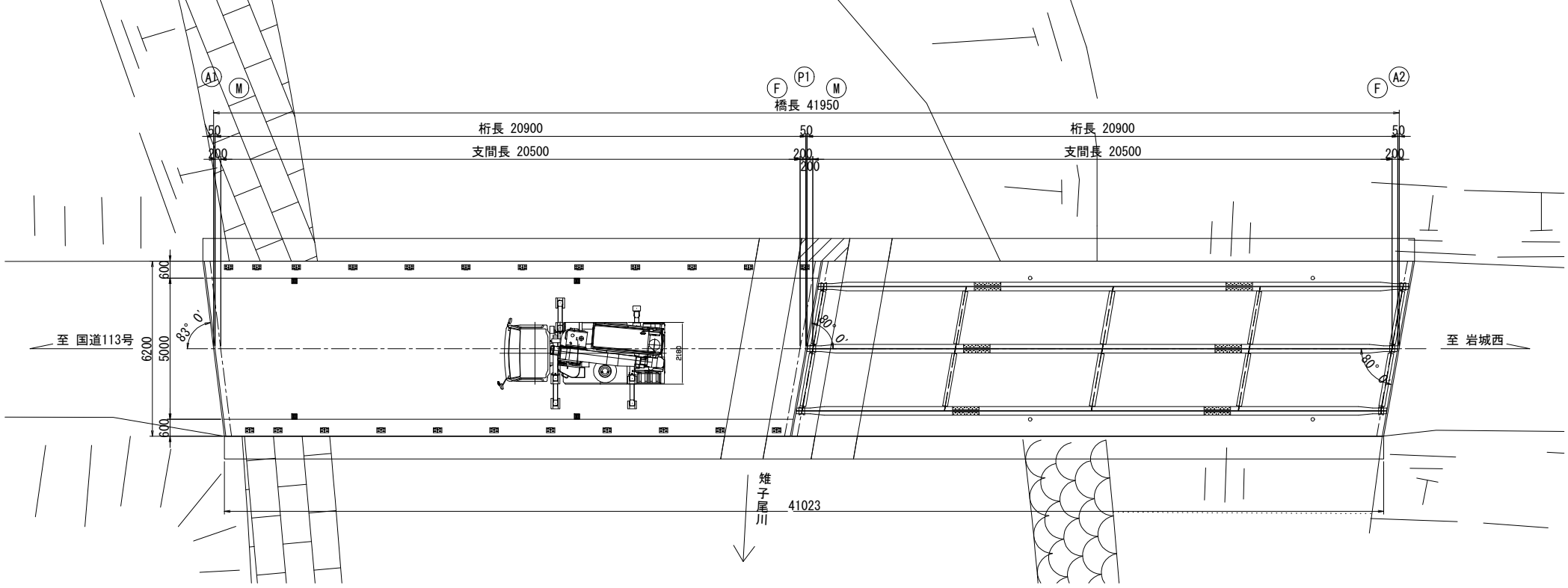
注記)
 1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
 2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

清水橋 施工計画図(案) [参考図]

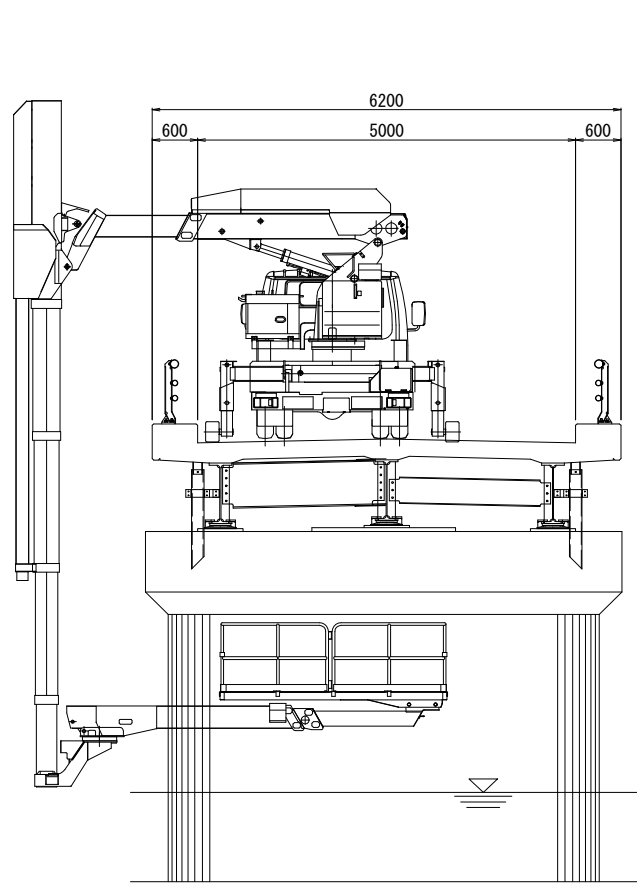
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



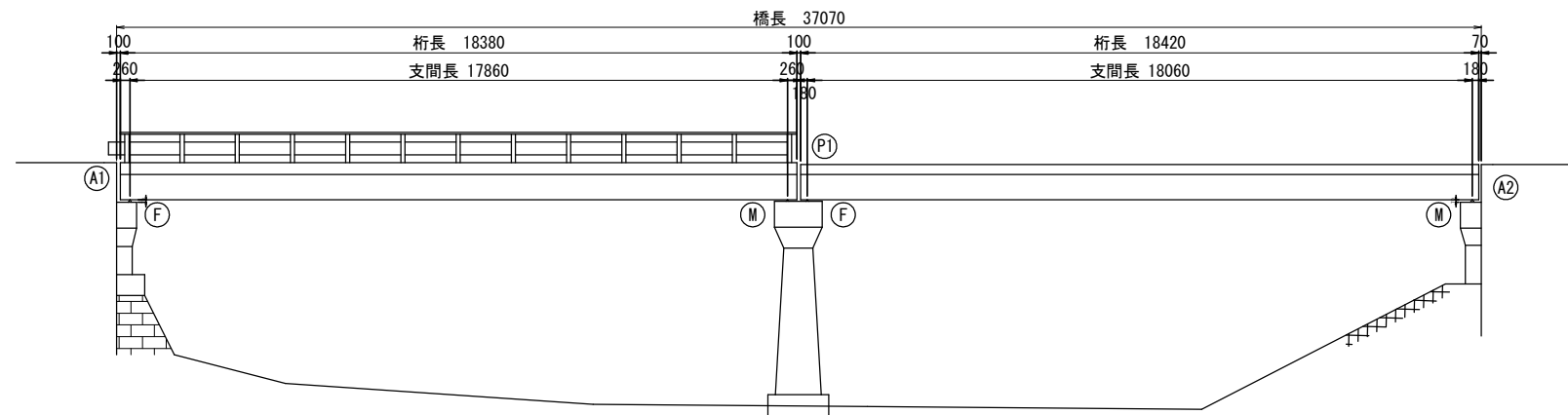
[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	竹ノ内線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	清水橋 施工計画図(案) [参考図]		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	12 / 23

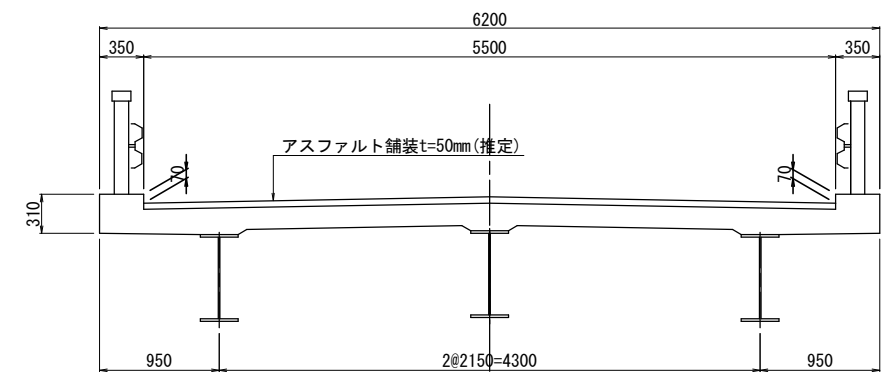
注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

岩城上橋 復元一般図

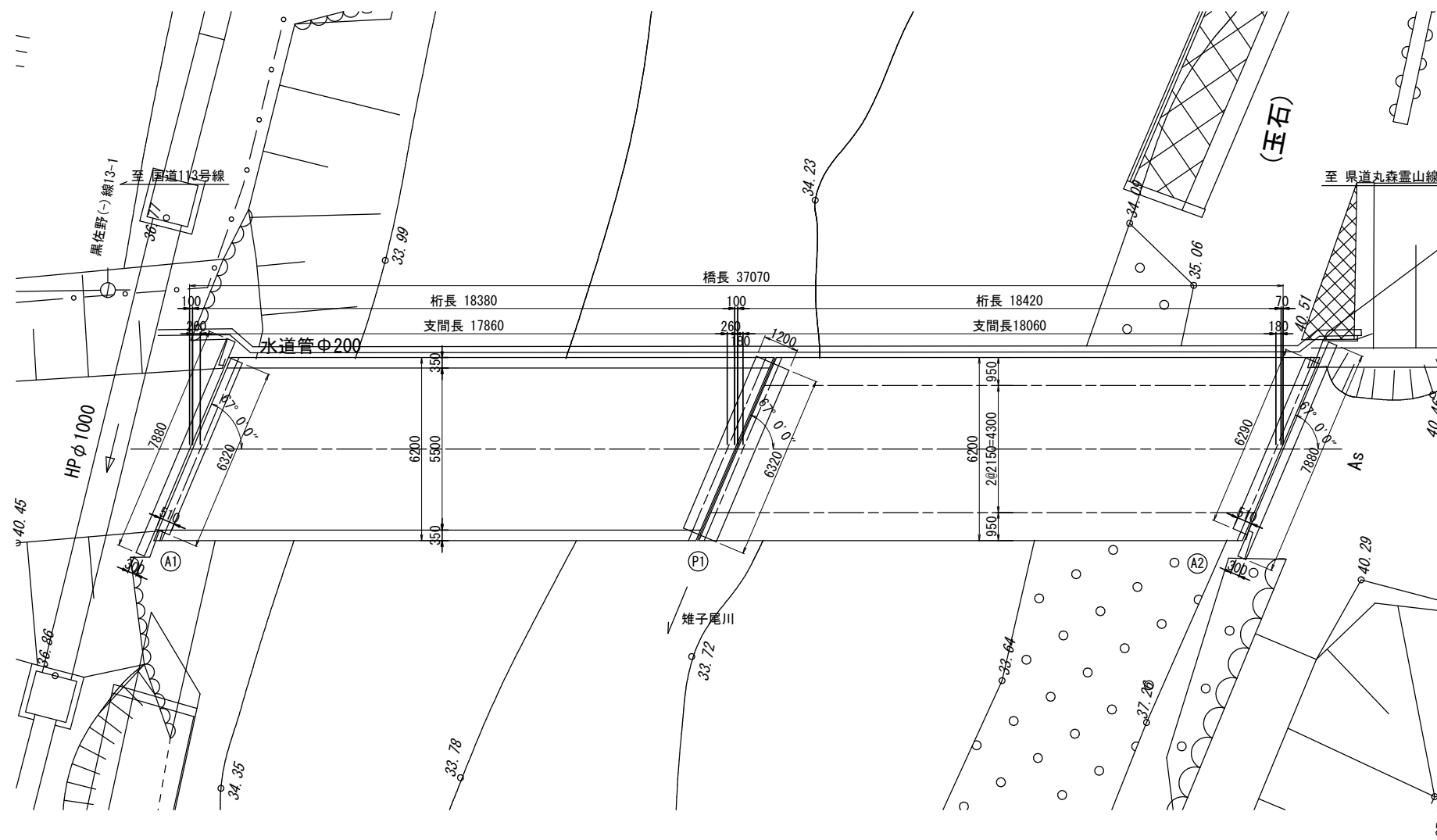
側面図 S=1:100



断面図 S=1:30



平面图 S=1:100



設計条件

橋 梁 名	岩城上橋
路 線 名	大内不動線
橋 長	37.07m
径 間 数	2径間
幅 員	6.20m 有効幅員5.50m
斜 角	67° 00' 00"
活 荷 重	TL-14 t
竣 工 年	昭和48年（1973）
適用示方書	S39道示
上部工形式	2径間単純鋼H桁合成橋
下部工形式	ピアアバット橋台
基礎工形式	直接基礎

[实 施]

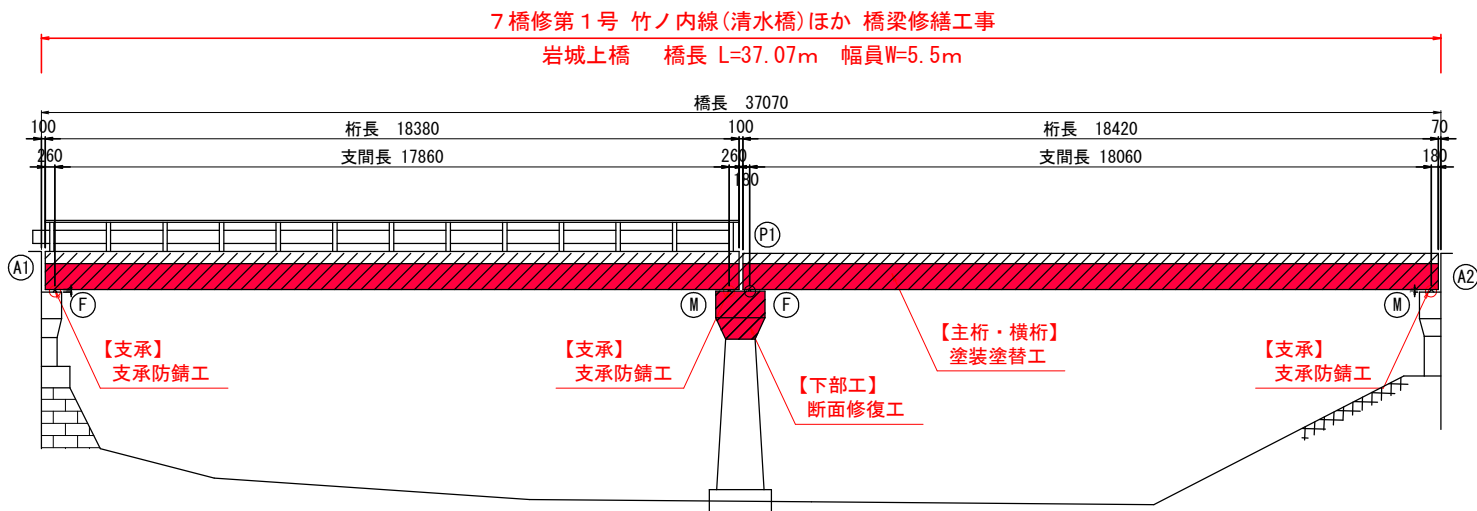
工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	岩城上橋 復元一般図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県丸森町		図番	13 / 23

注記)

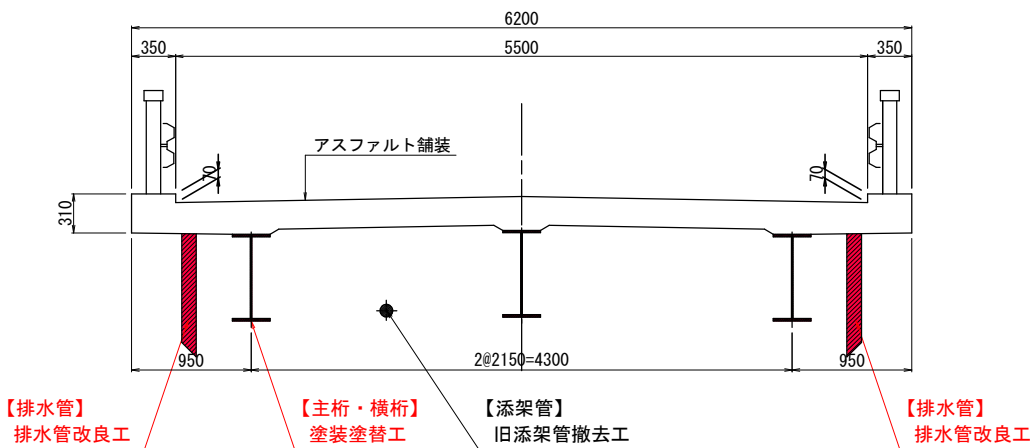
1. 橋梁は、現地計測結果より復元している。
2. 地形平面図は、県災害復旧工事のものを使用している。橋梁位置断面図は、
ペーパードrawingsにて作成している。

岩城上橋 補修一般図

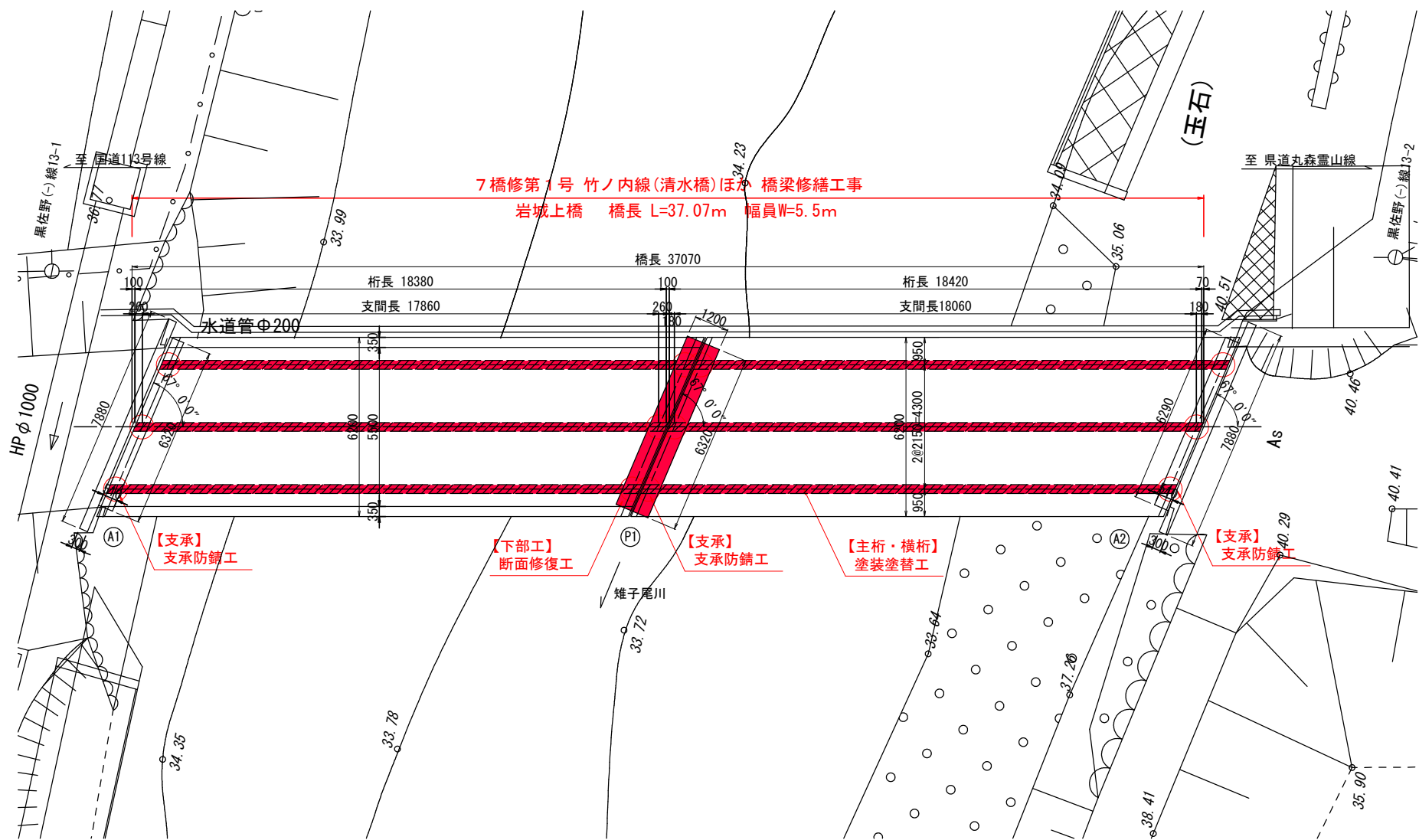
側面図 S=1:100



断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



設計条件

橋梁名	岩城上橋
路線名	大内不動線
橋長	37.07m
径間数	2径間
幅員	6.20m 有効幅員5.50m
斜角	67° 00' 00"
活荷重	TL-14 t
竣工年	昭和48年 (1973)
適用示方書	S39道示
上部工形式	2径間単純鋼桁合成橋
下部工形式	ピアアバット橋台
基礎工形式	直接基礎

補修項目

主桁・横桁	塗装塗替工 (Rc-I 系塗装)
支承	支承防錆工 (金属溶射)
下部工	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
排水管	排水管改良工 (VP-φ200)
添架管	旧添架管撤去工

[実施]

工事番号	7橋修第1号
路線名	大内不動線
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内
工事名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事
図面名	岩城上橋 補修一般図
縮尺	図示
設計者	位置
宮城県丸森町	図番 14 / 23

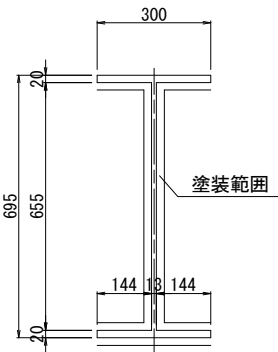
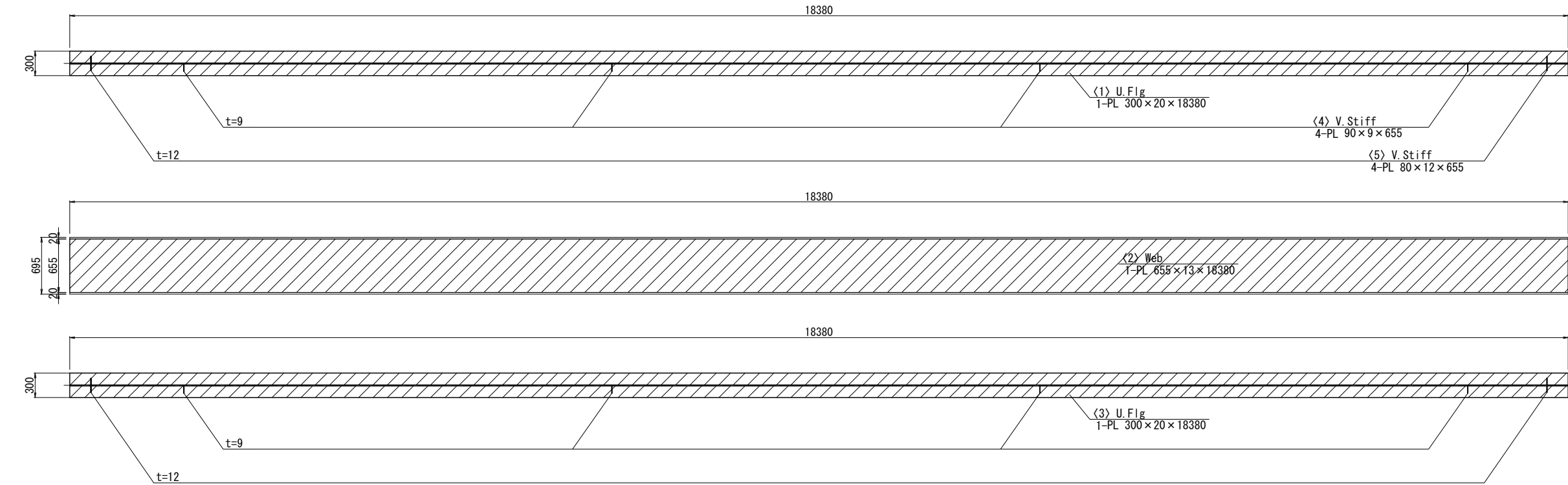
注記)
1. 橋梁は、現地計測結果より復元している。
2. 地形平面図は、県災害復旧工事のものを
使用している。橋梁位置断面図は、
ペーパーバージョンにて作成している。
3. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

岩城上橋 塗装塗替図(その1)
〈A1 ~ P1〉

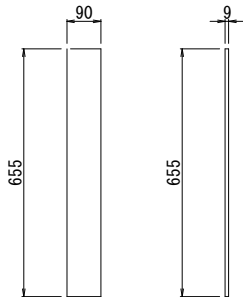
主桁詳細図 S=1:30

主桁断面図 S=1:10

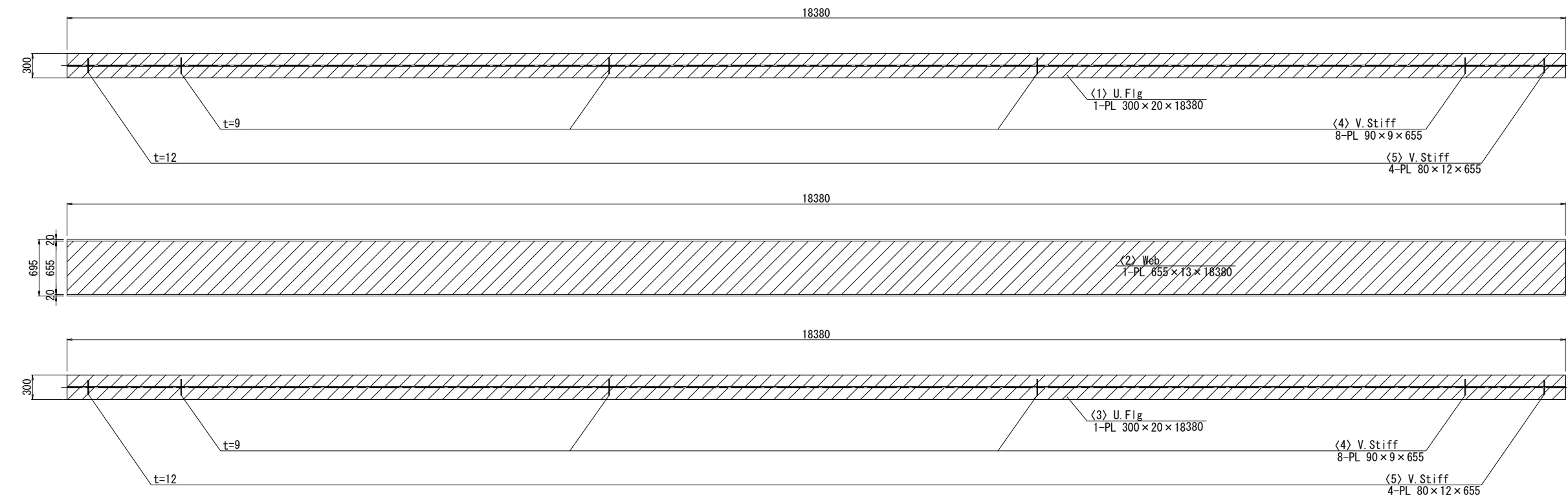
< G 1 , G 3 >



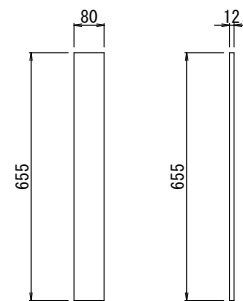
垂直補剛材詳細図 〈4〉
S=1:10



< G 2 >



垂直補剛材詳細図 〈5〉
S=1:10



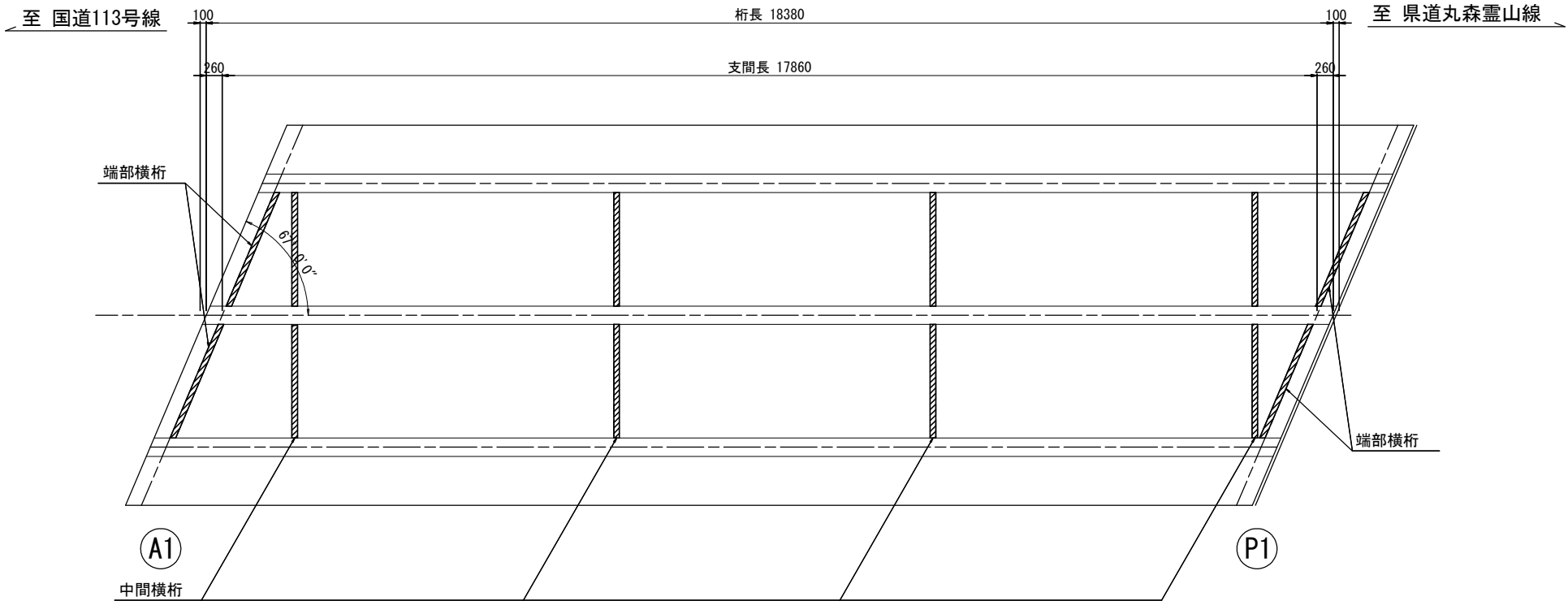
[実 施]

注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

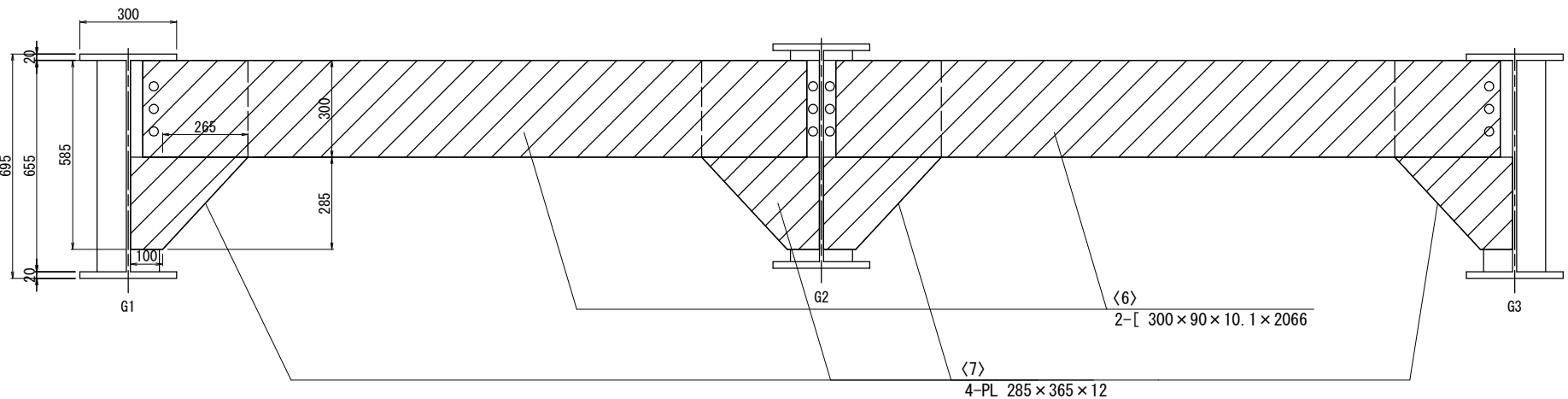
工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	岩城上橋 塗装塗替図 (その1)		
縮 尺	図 示	位 置	
設 計 者		設 計 年 度	
宮城県丸森町		図 番	15 / 23

岩城上橋 塗装塗替図(その2)
〈A1 ~ P1〉

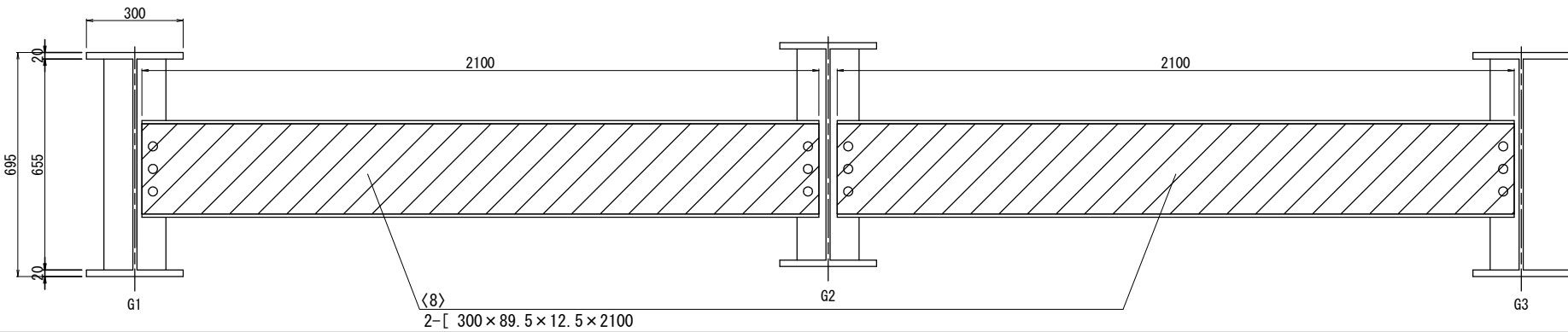
平面位置図 S=1:50



端部横桁詳細図 (n = 2)
正面図 S=1:10



中間横桁詳細図 (n = 4)
正面図 S=1:10

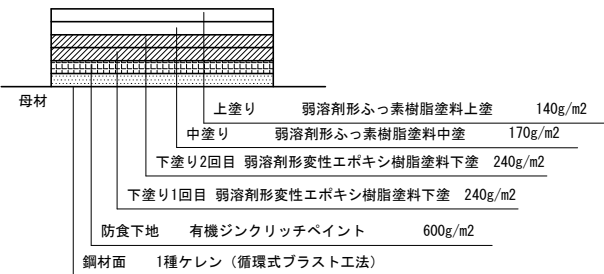


〈塗装仕様〉
Rc-I 塗装系(スプレー※1)

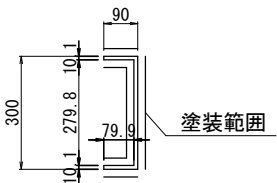
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種※3 (循環式プラスト工法)		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日※2
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	240	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	240	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	170	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	140	1日~10日

※1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
※2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3: プラスト処理による除せいで度は1 SO Sa 2 1/2 とする。

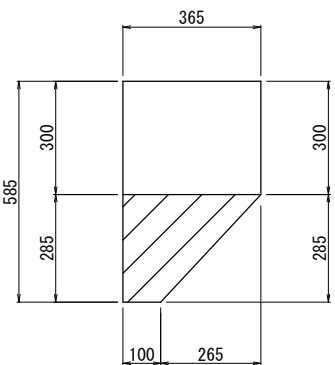
塗装詳細図



断面図

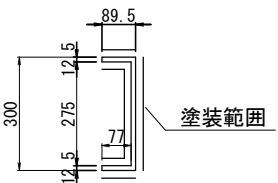


ガセットPL



注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

断面図

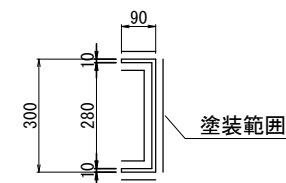
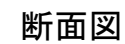
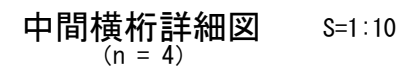
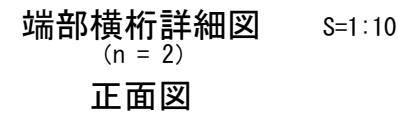


[実 施]

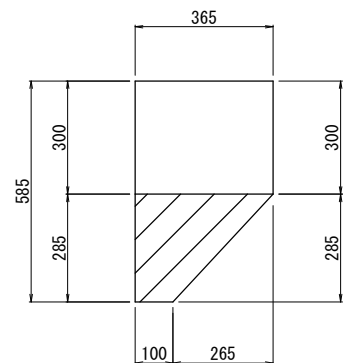
工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	岩城上橋 塗装塗替工図 (その2)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	16 / 23

注記)
 1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
 2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

横桁・対傾構詳細図 S=1:50

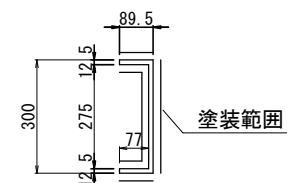


ガセツトPL



注記)
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

断面図



[実 施]

工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	岩城上橋 塗装塗替工図 (その5)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県丸森町		図番	18 / 23

〈塗装仕様〉			
Rc-Ⅰ 塗装系(スプレー※1)			
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種※3 (循環式プラスチック工法)		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日※2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

※1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
 ※2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
 ※3：プラスト処理による除せいはISO Sa 2 1/2 とする。

岩城上橋 塗装塗替図(その5)

塗装面積算出数量表

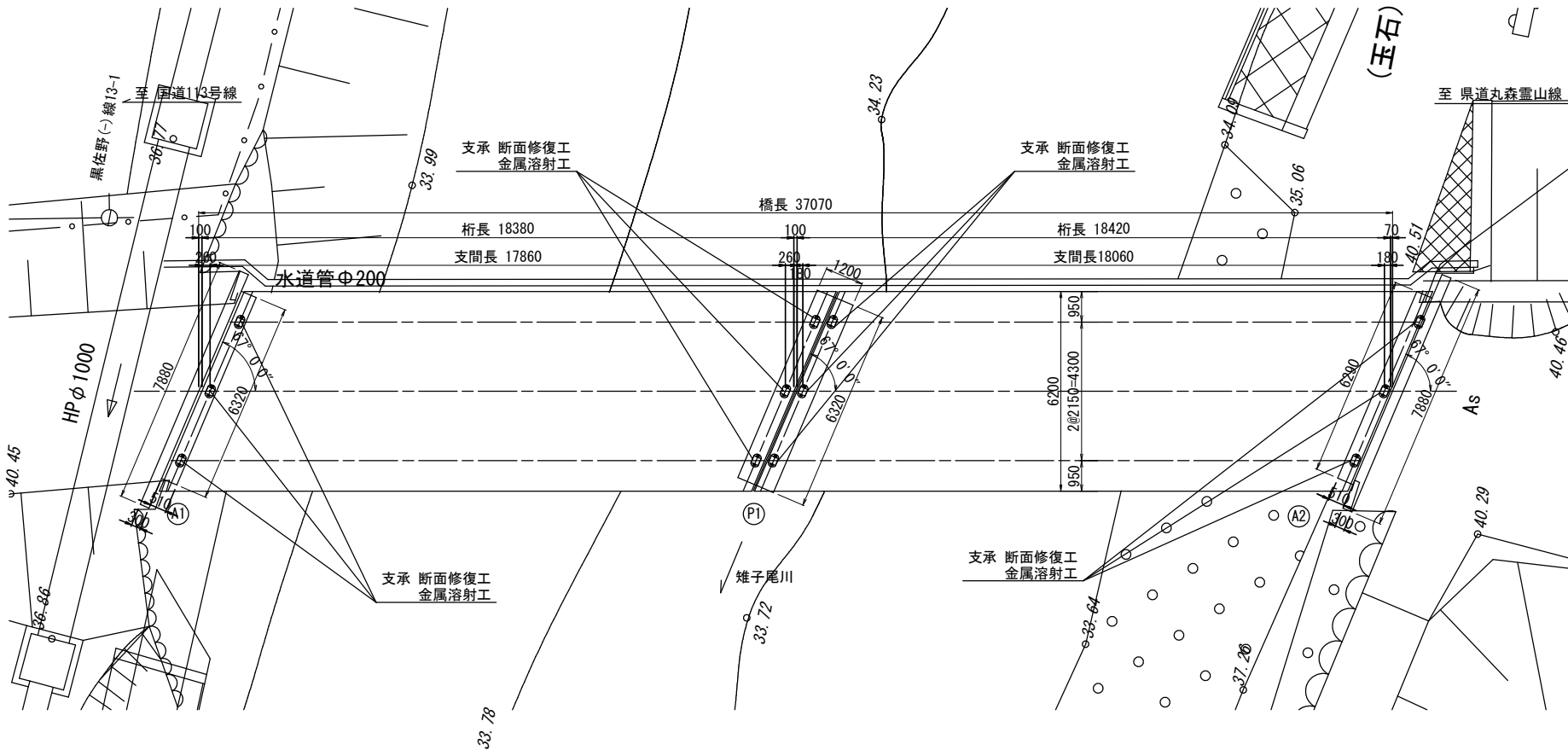
No.	種別	幅 (mm)	厚み (mm)	長さ (mm)	数量	塗装面積 (m2)				備 考	No.	種別	幅 (mm)	厚み (mm)	長さ (mm)	数量	塗装面積 (m2)				備 考		
						1面	2面	4面	面積								1面	2面	4面	面積			
〈 A1～P1 主桁 (G1) 〉											〈 P1～A2 主桁 (G1) 〉												
〈1〉	PL	300	20	18,380	1	5.51			5.51	U.Flг	〈9〉	PL	300	20	18,420	1	5.53			5.53	U.Flг		
〈2〉	PL	655	13	18,380	1		24.08		24.08	Web	〈10〉	PL	655	13	18,420	1		24.13		24.13	Web		
〈3〉	PL	300	20	18,380	1		11.03		11.03	L.Flг	〈11〉	PL	300	20	18,420	1		11.05		11.05	L.Flг		
〈4〉	PL	90	9	655	4		0.47		0.47	V.Stiff	〈12〉	PL	90	9	655	4		0.47		0.47	V.Stiff		
〈5〉	PL	80	12	655	4		0.42		0.42	V.Stiff	〈13〉	PL	80	12	655	4		0.42		0.42	V.Stiff		
							小 計		41.51									小 計		41.60			
〈 A1～P1 主桁 (G2) 〉											〈 P1～A2 主桁 (G2) 〉												
〈1〉	PL	300	20	18,380	1	5.51			5.51	U.Flг	〈9〉	PL	300	20	18,420	1	5.53			5.53	U.Flг		
〈2〉	PL	655	13	18,380	1		24.08		24.08	Web	〈10〉	PL	655	13	18,420	1		24.13		24.13	Web		
〈3〉	PL	300	20	18,380	1		11.03		11.03	L.Flг	〈11〉	PL	300	20	18,420	1		11.05		11.05	L.Flг		
〈4〉	PL	90	9	655	8		0.94		0.94	V.Stiff	〈12〉	PL	90	9	655	8		0.94		0.94	V.Stiff		
〈5〉	PL	80	12	655	4		0.42		0.42	V.Stiff	〈13〉	PL	80	12	655	4		0.42		0.42	V.Stiff		
							小 計		41.98									小 計		42.07			
〈 A1～P1 主桁 (G3) 〉											〈 P1～A2 主桁 (G3) 〉												
〈1〉	PL	300	20	18,380	1	5.51			5.51	U.Flг	〈9〉	PL	300	20	18,420	1	5.53			5.53	U.Flг		
〈2〉	PL	655	13	18,380	1		24.08		24.08	Web	〈10〉	PL	655	13	18,420	1		24.13		24.13	Web		
〈3〉	PL	300	20	18,380	1		11.03		11.03	L.Flг	〈11〉	PL	300	20	18,420	1		11.05		11.05	L.Flг		
〈4〉	PL	90	9	655	4		0.47		0.47	V.Stiff	〈12〉	PL	90	9	655	4		0.47		0.47	V.Stiff		
〈5〉	PL	80	12	655	4		0.42		0.42	V.Stiff	〈13〉	PL	80	12	655	4		0.42		0.42	V.Stiff		
							小 計		41.51									小 計		41.60			
〈 端部横桁 〉											〈 端部横桁 〉												
〈6〉	[	90×300×10.1								横桁	〈14〉	[	90×300×10.1								横桁		
		300	10.1	2,066	4	2.48			2.48			300	10.1	2,088	4	2.51			2.51				
		279.8	10.1	2,066	4	2.31			2.31			279.8	10.1	2,088	4	2.34			2.34				
		90	10.1	2,066	4		1.49		1.49			90	10.1	2,088	4		1.50		1.50				
		79.9	10.1	2,066	4		1.32		1.32			79.9	10.1	2,088	4		1.33		1.33				
〈7〉	PL	365	12	265	8		1.06		1.06	ガセット	〈15〉	PL	365	12	265	8		1.06		1.06	ガセット		
							小 計		8.66									小 計		8.74			
〈 中間横桁 〉											〈 中間横桁 〉												
〈8〉	[	89.5×300×12.5								横桁	〈16〉	[	89.5×300×12.5								横桁		
		300	12.5	2,100	8	5.04			5.04			300	12.5	2,100	8	5.04			5.04				
		275	12.5	2,100	8	4.62			4.62			275	12.5	2,100	8	4.62			4.62				
		89.5	12.5	2,100	8		3.01		3.01			89.5	12.5	2,100	8		3.01		3.01				
		77	12.5	2,100	8		2.59		2.59			77	12.5	2,100	8		2.59		2.59				
							小 計		15.26									小 計		15.26			
											合 計											298.19	

【 実 施 】

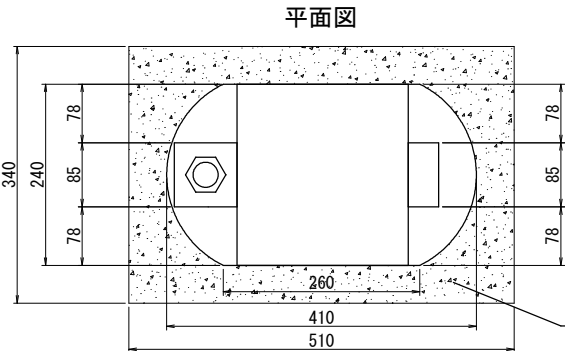
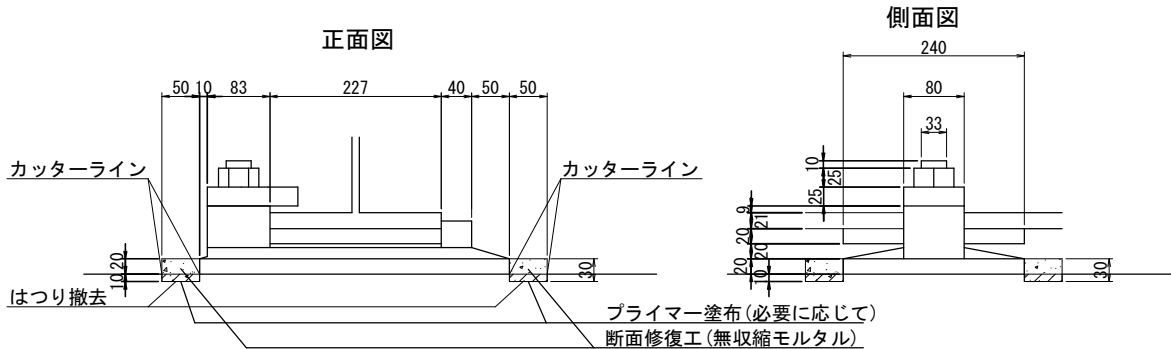
工事番号	7 橋修第 1 号		
路 線 名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	岩城上橋 塗装塗替工図 (その5)		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県丸森町		図番	19 / 23

岩城上橋 支承補修図

配置図 S=1:100



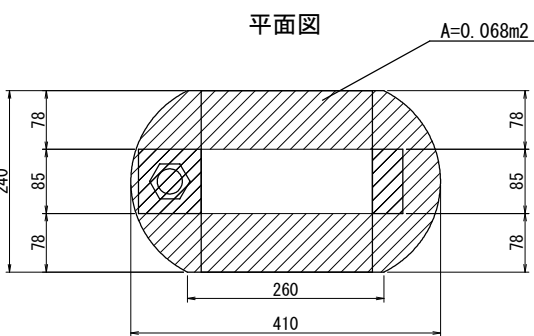
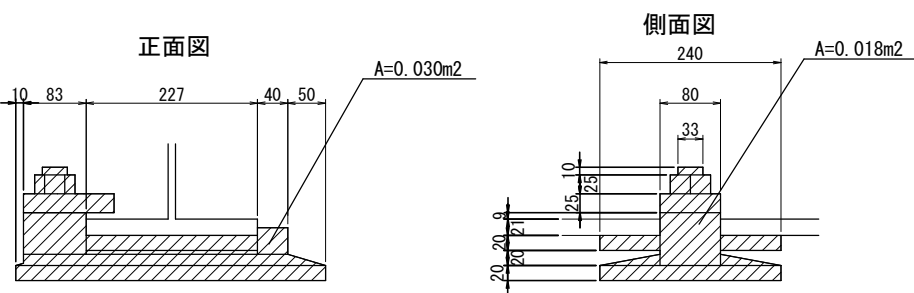
断面修復工詳細図 S=1:5



断面修復作業手順

- [step.1] 小型ブレード・ディスクサンダー等で断面修復部のコンクリートを撤去する。
- [step.2] 修復用プライマー塗布後、無収縮モルタルで断面を修復する。

金属溶射工詳細図 S=1:5



金属溶射仕様

素地調整	1種(循環式ブラスト) ブラスト処理 除せいでIS08501-1 Sa2 1/2以上 素面粗さ Rz50μm以上(又は粗面化処理 Rz50μm以上) ブラスト処理等により密着油分、水分、じんあい等を除去し、 清浄面とする。
金属溶射	最小皮膜厚さ100μm以上
封孔処理	エポキシ樹脂塗料
溶射金属	Zn/Al 擬合金 (亜鉛/アルミニウム)

施工手順

準備工	
素地調整	ISO Sa3 または Sa 1/2以上
金属溶射	溶射厚100μm以上
封孔処理	
後片付け	

[実施]

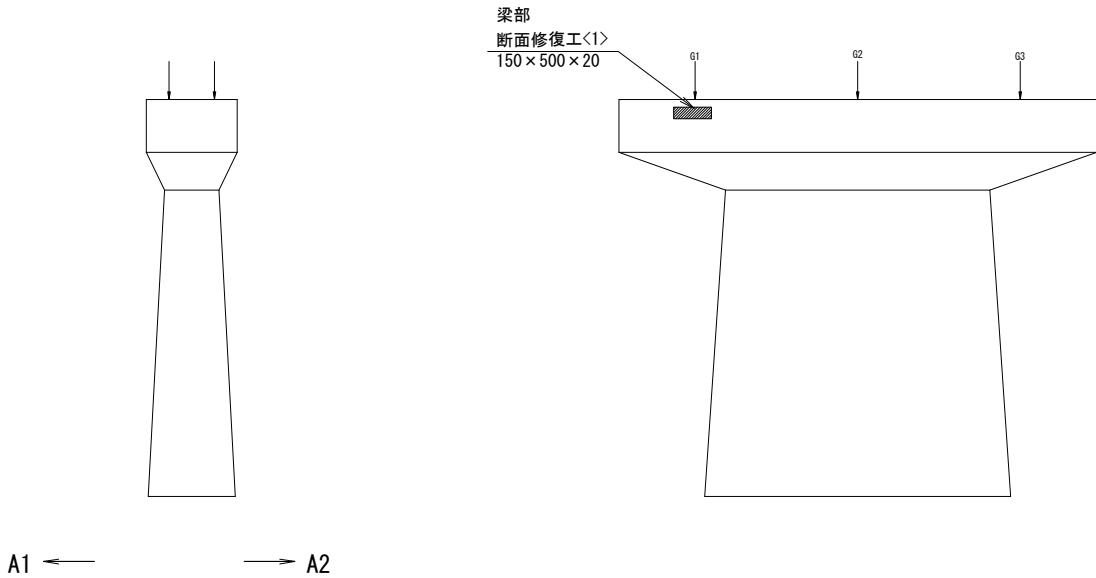
- 注記)
1. 橋梁は、現地計測結果より復元している。
2. 地形平面図は、県災害復旧工事のものを
使用している。橋梁位置断面図は、
ペーパーバージョンにて作成している。
3. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

工事番号	7 橋修第 1 号		
路線名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工事名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図面名	岩城上橋 支承補修図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県丸森町		図番	20 / 23

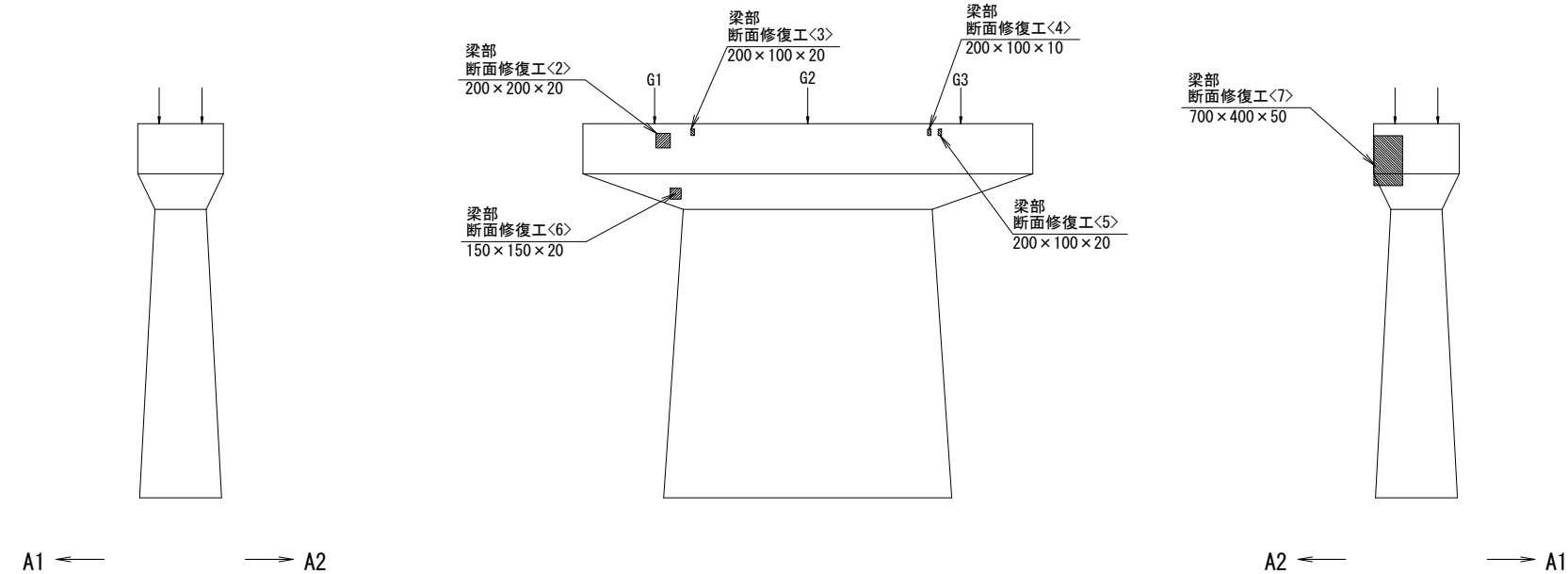
岩城上橋 下部工補修図
[P1橋脚]

断面図 S=1:50

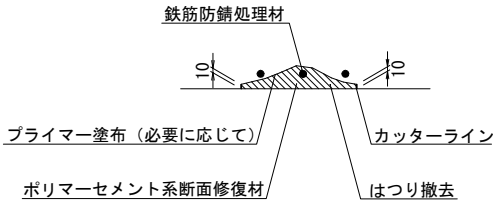
断面図（A1側から望む）



断面図（A2側から望む）



断面修復工標準図〔鉄筋防錆処理含む〕
（参考図）



- 断面修復作業手順
- 〔step. 1〕 事前調査を行い、断面修正する箇所・深さ及び範囲を確認する。
 - 〔step. 2〕 小型ブレード・ディスクサンダー等で断面修復部のコンクリートを撤去する。
 - 〔step. 3〕 必要に応じて鉄筋の防錆処理を行う。
 - 〔step. 4〕 修復用プライマー塗布後、ポリマー・セメントモルタルで断面修復する。
 - 〔step. 5〕 修復部を養生する（1日）。

断面修復工（鉄筋防錆処理含む）

箇所	番号	寸法 (m)					体積 (m3)
P1橋脚	<1>	0.150	*	0.500	*	0.020	0.002
	<2>	0.200	*	0.200	*	0.020	0.001
	<3>	0.200	*	0.100	*	0.020	0.001
	<4>	0.200	*	0.100	*	0.010	0.001
	<5>	0.200	*	0.100	*	0.020	0.001
	<6>	0.150	*	0.150	*	0.020	0.001
	<7>	0.700	*	0.400	*	0.050	0.014
総体積 (m3)							0.021

注記 ・補修範囲は、深さが推定の箇所もあるため、現地で確認の上最終決定すること。

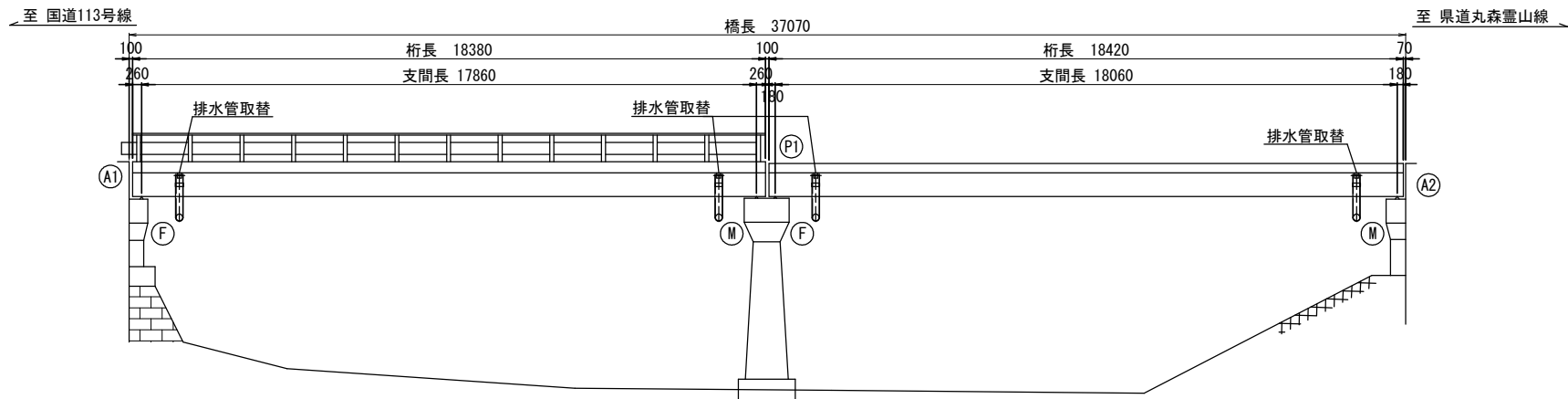
[実 施]

工事番号	7 橋修第1号		
路 線 名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工 事 名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図 面 名	岩城上橋 下部工補修図		
縮 尺	図 示	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	21 / 23

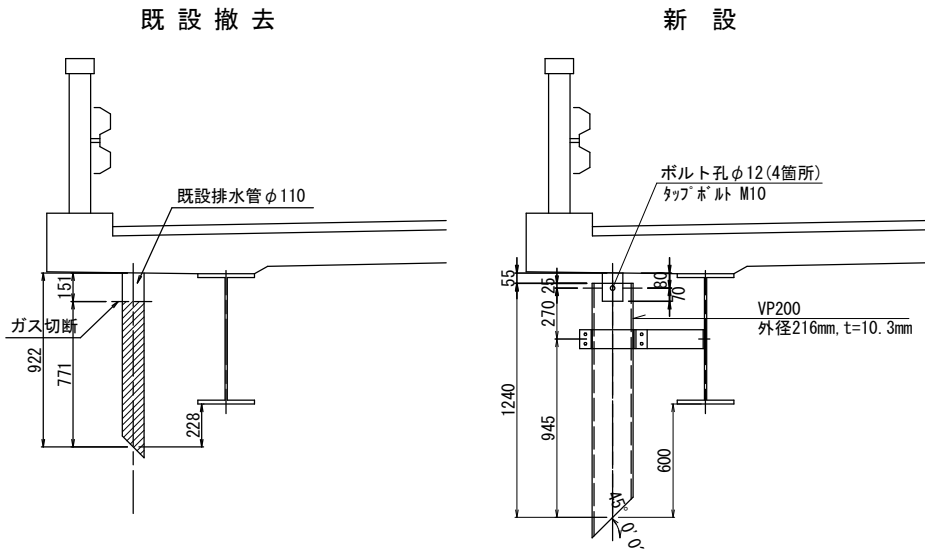
- 注記)
- 1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
 - 2. 本図面は、竣工図面及び現地計測結果より作成している。

岩城上橋 排水施設補修図

側面図 S=1:100

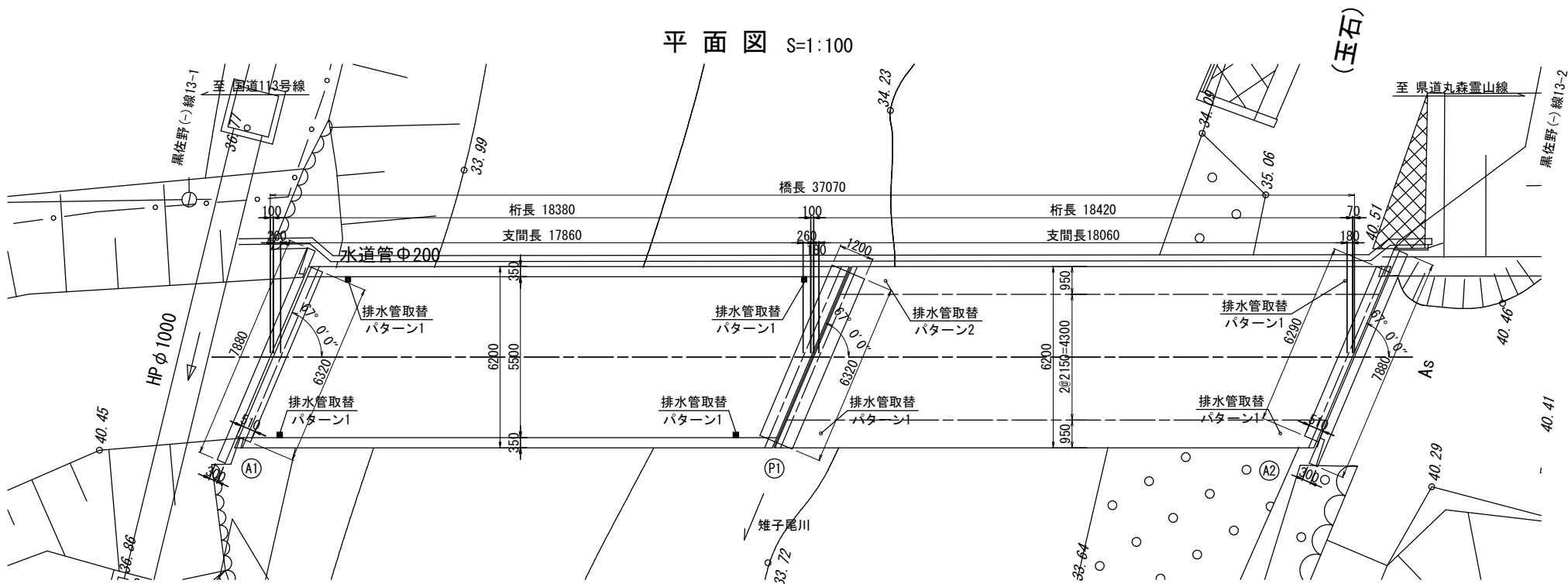


断面図 S=1:20
(パターン1)

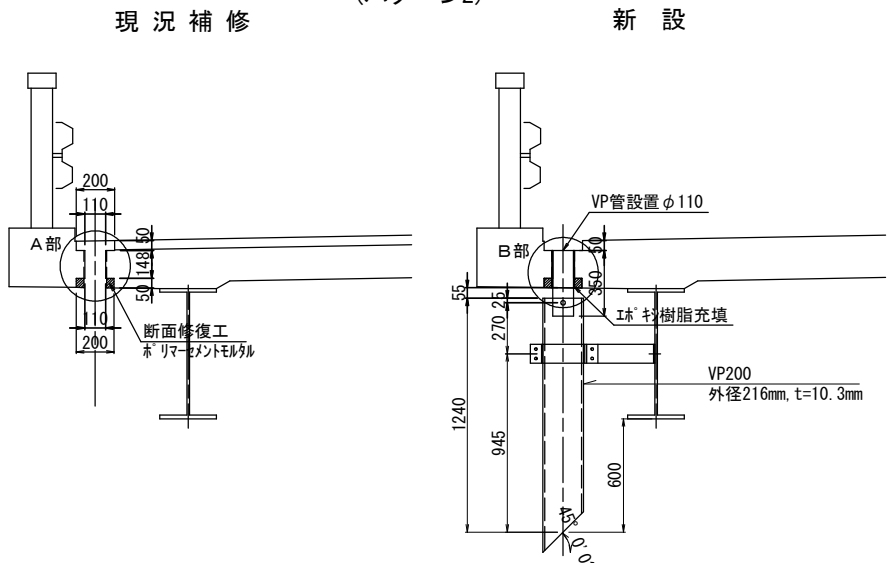


再設置数量
1-Pipe (VP200) φ216×10.3mm×1240mm
4-タップボルト M10

平面図 S=1:100

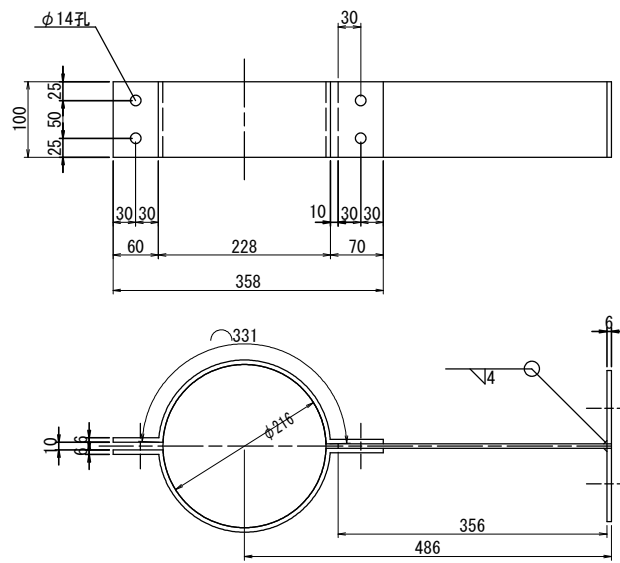


断面図 S=1:20
(パターン2)

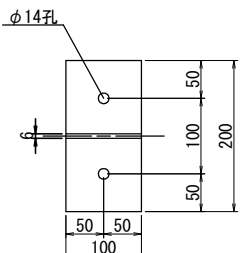


再設置数量
1-Pipe (VP200) φ216×10.3mm×1240mm
4-タップボルト M10

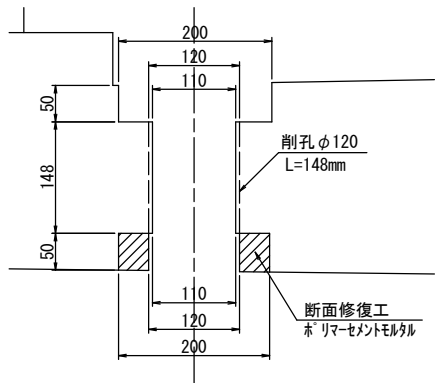
支持金具詳細図 S=1:5



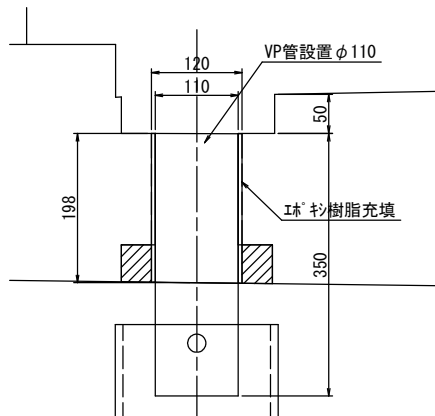
2-PL 100x6x461 (SS400)
1-PL 100x6x356 (SS400)
1-PL 100x6x200 (SS400)
4-BN M12x45 (SS400)
2-BN M12x50 (SS400)
※ SS400材は溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641 HDZT 77) とする。
ただし、ボルト・ナットはHDZT 49とする。



A部詳細図 S=1:5



B部詳細図 S=1:5



注記
1. 橋梁は、現地計測結果より復元している。
2. 地形平面図は、県災害復旧工事のものを使用している。橋梁位置断面図は、ベーパー・ドレーンにて作成している。
3. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

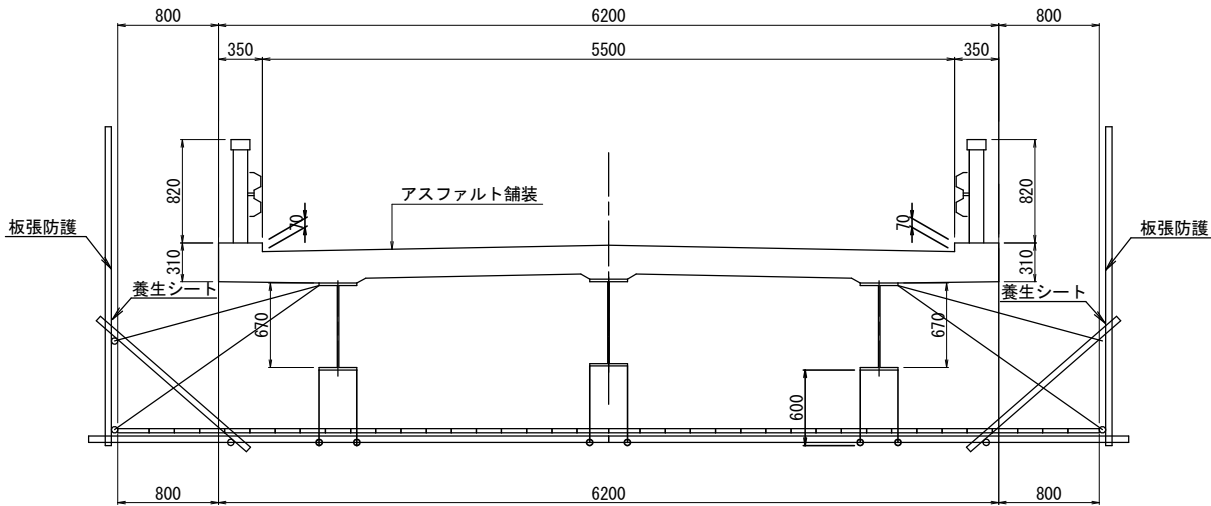
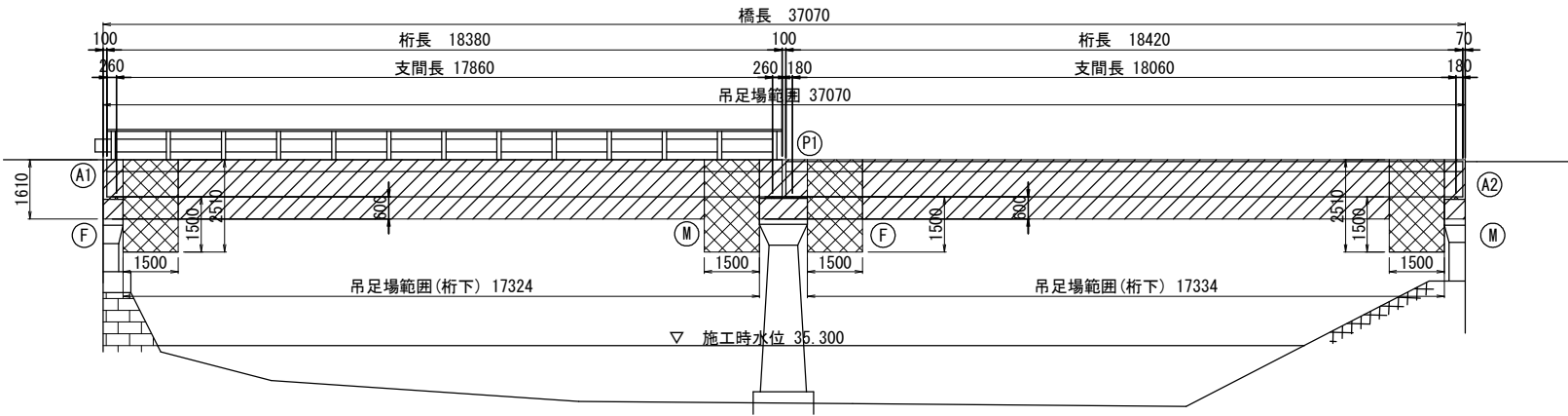
【実施】

工事番号	7 橋修第 1 号
路線名	大内不動線
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内
工事名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事
図面名	岩城上橋 排水施設補修図
縮尺	図示
設計者	位置
設計年度	設計年度
宮城県丸森町	図番 22 / 23

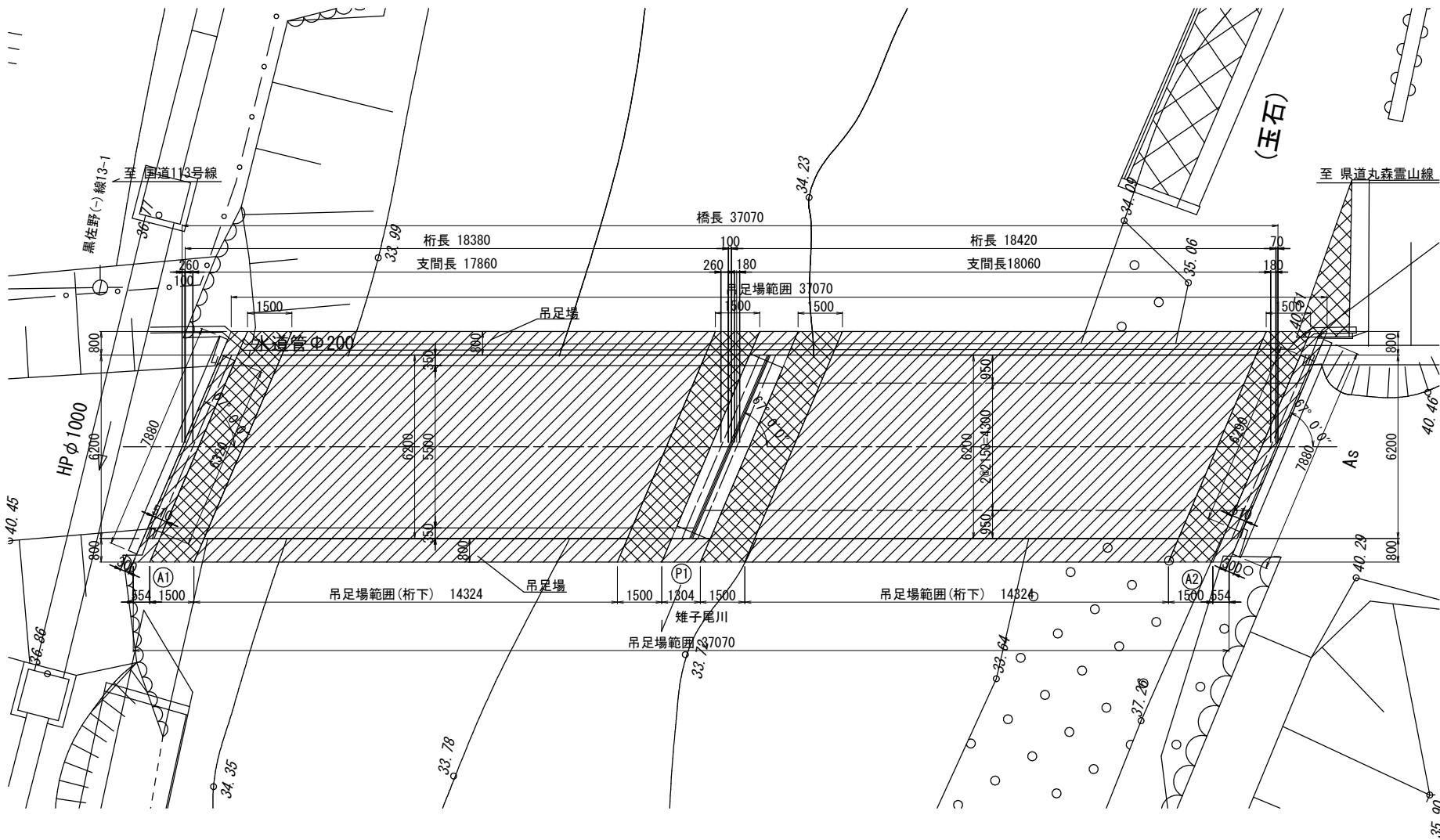
岩城上橋 施工計画図(案) 〔参考図〕

側面図 S=1:100

断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



〔実施〕

工事番号	7 橋修第1号		
路線名	大内不動線		
施工地名	丸森町大内字清水河原ほか 地内		
工事名	竹ノ内線(清水橋)ほか 橋梁修繕工事		
図面名	岩城上橋 施工計画図(案)〔参考図〕		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県丸森町		図番	23 / 23

- 注記)
- 橋梁は、現地計測結果より復元している。
 - 地形平面図は、県災害復旧工事のものを
使用している。橋梁位置断面図は、
ペーパーバージョンにて作成している。
 - 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。